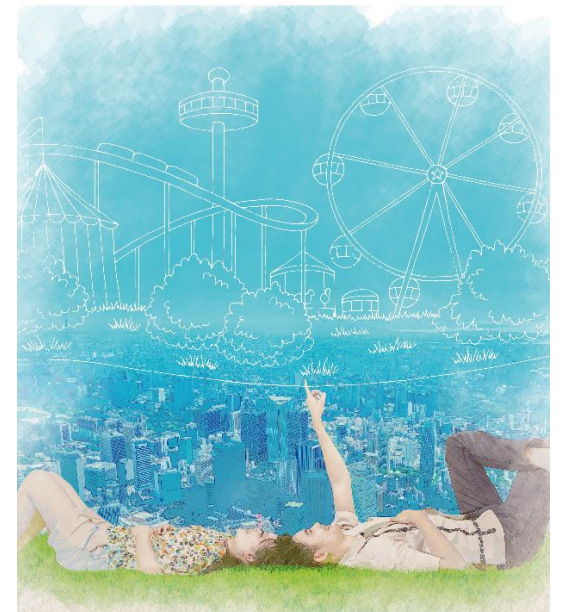


2022年度第3四半期決算

2023年2月14日

SOMPOホールディングス株式会社



目次

決算ハイライト	3	コンバインド・レシオ	28
2022年度第3四半期業績概況	4	資産ポートフォリオ・資産運用損益	29
国内損保事業（損保ジャパン）の業績概況	5	（参考）海外自然災害	30
海外保険事業の業績概況	6	（参考）決算数値	31
国内生保事業（ひまわり生命）の業績概況	7	2. SIコンシューマー（Sompoシゴルタ・Sompoセグロス）	
介護・シニア事業（SOMPOケア）の業績概況	8	（参考）業績概況	32
決算数値	9	（参考）地域別業績概況	33
（参考）2022年度通期業績予想修正のブレイクダウン	10	国内生保事業	
事業別詳細		新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料	35
国内損保事業（損保ジャパン）		事業費	36
保険引受利益	12	資産ポートフォリオ・資産運用損益	37
正味収入保険料	13	（参考）決算数値	38
（参考）正味収入保険料	14	（参考）修正純資産のコンバージョン	39
コンバインド・レシオ	15	介護・シニア事業	
損害率	16	売上高・入居率・営業利益率	41
事業費率	17	（参考）入居率詳細・事業所数	42
資産運用損益	18	ERM	
（参考）自動車保険関連の指標	19	財務健全性：ESR（99.5%VaR）	44
（参考）火災保険、新種保険関連の指標	20	（参考）実質自己資本・リスク量のブレイクダウン	45
（参考）国内自然災害	21		
（参考）資産運用損益内訳	22	（参考）資産運用ポートフォリオ –グループ連結ベース運用資産–	46
（参考）資産ポートフォリオ	23	（参考）経営数値目標	47
（参考）決算数値	24		
海外保険事業			
1. SI^{※1}コマースヤル			
保険引受利益	26		
収入保険料	27		

※1 SIはSompoインターナショナルを指す（以下同様）

※2 海外保険事業

為替レート（円/米ドル）		
2022年度 第3四半期	132.70円（対前年：+15.4%）	2022年12月末
	– 海外 ^{※2} 144.81円（対前年：+29.4%）	2022年9月末
2022年度 通期業績予想	144.81円	2022年9月末
2022年度 海外保険事業速報	132.70円	2022年12月末

2022年度第3四半期実績

- **SIコマースの大幅増収を主因に、正味収入保険料は、対前年+5,410億円増（+22.0%）の2兆9,961億円**
- **ハリケーン・イアの損失含め、通期予想に沿った進捗となった結果、連結純利益は376億円、修正連結利益は834億円**

損保ジャパン

保険引受利益は想定線、利配収入は好調に推移し、修正利益は211億円（中間期から302億円の積み上げ）

海外保険事業

自然災害影響を受けるもSIコマースの増収によりオフセットし、修正利益は対前年+32億円増の476億円

ひまわり生命

新型コロナ影響を除いた修正利益は298億円、新型コロナ影響は既にピークアウトし通期に向け順調な進捗

SOMPOケア

入居率改善やネクサスケア社統合効果がトップライン拡大を牽引し、修正利益は43億円と安定した業績

2022年度通期業績（修正利益）

- **内外保険事業ともに好調な利配収入の継続による上積みを見込む。通期業績予想は変更なし**
- **海外保険事業修正利益の通期速報※は703百万ドル（933億円）**
現地通貨ベースで通期予想（693百万ドル）を超過し、2期連続で過去最高益を大きく更新

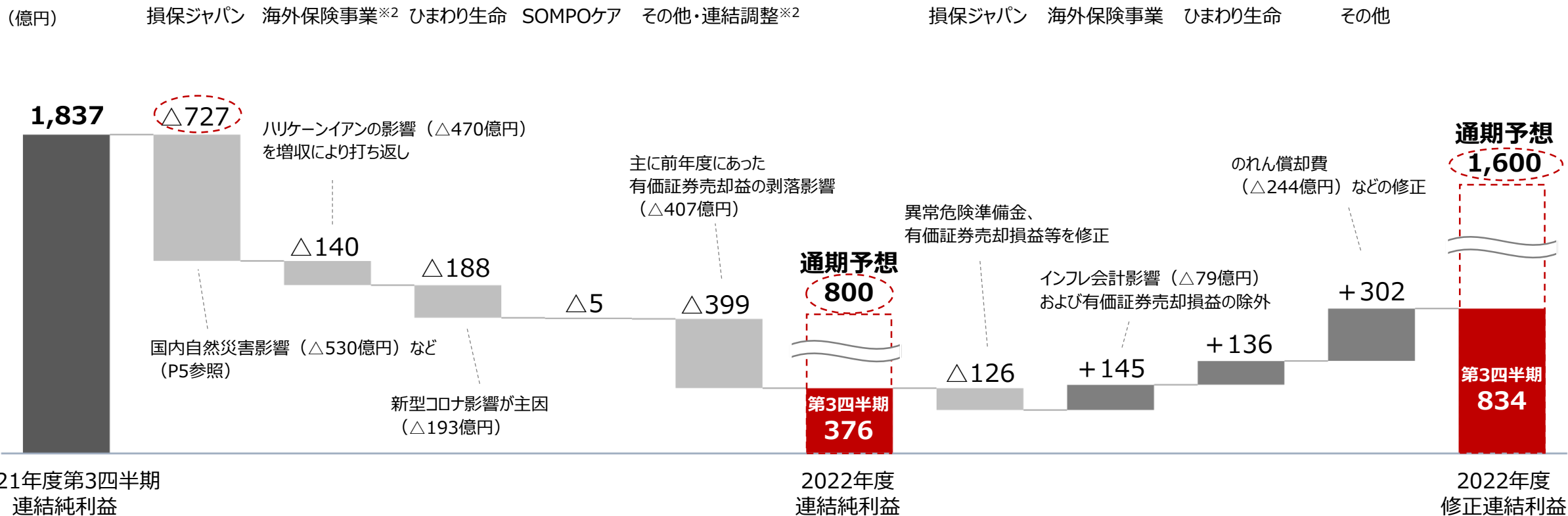
※海外保険事業の2022年度通期（1月～12月）速報は未監査であり、数値が変更となる可能性有り。確定実績は2023年5月のSOMPOホールディングスの通期決算発表時に発表。

2022年度第3四半期業績概況

- ・ 損保ジャパンの保険引受利益を中心に中間期から改善し、連結純利益376億円（中間期から576億円の積み上げ）
- ・ 2022年度通期修正連結利益は、海外保険事業の増益に加え、資産運用利益の増加により、1,600億円を見込む（業績予想変更なし）

連結純利益※1の増減要因（税後）

修正連結利益へのコンバージョン



	損保ジャパン	海外保険事業	ひまわり生命	SOMPOケア	その他・連結調整	連結純利益	修正連結利益
2021年度第3四半期	1,065億円	471億円	141億円	45億円	104億円	1,837億円	2,051億円
2022年度第3四半期	338億円	331億円	△47億円	39億円	△294億円	376億円	834億円

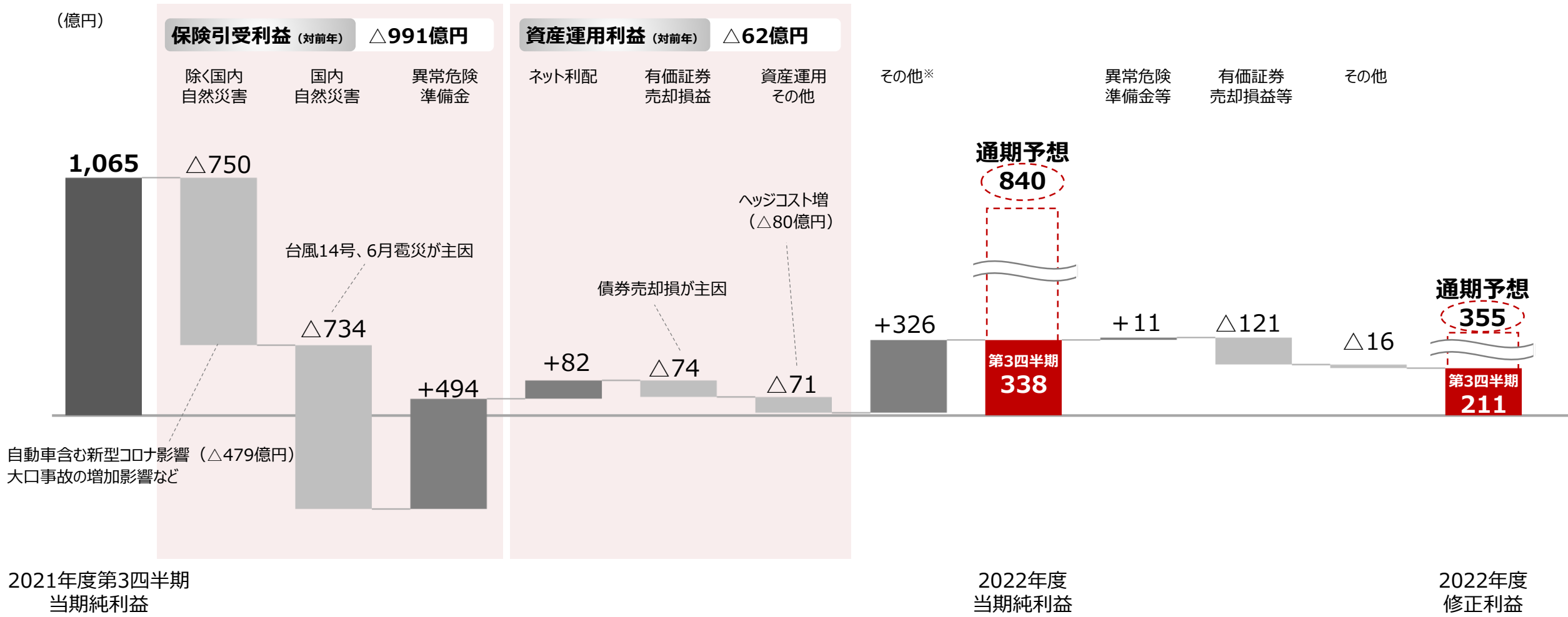
※1 連結純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す（以下同様）
 ※2 SIにかかる会計基準差異の修正影響を調整（P9参照）

国内損保事業（損保ジャパン）の業績概況

- 好調なネット利配や中間期以降の火災保険収支改善などにより、2022年度第3四半期の修正利益は211億円(中間期から302億円積み上げ)
- 2022年度通期に向けては、好調な利配収入や政策株式売却益などにより、資産運用利益の上積みを見込む

当期純利益の増減要因

修正利益へのコンバージョン



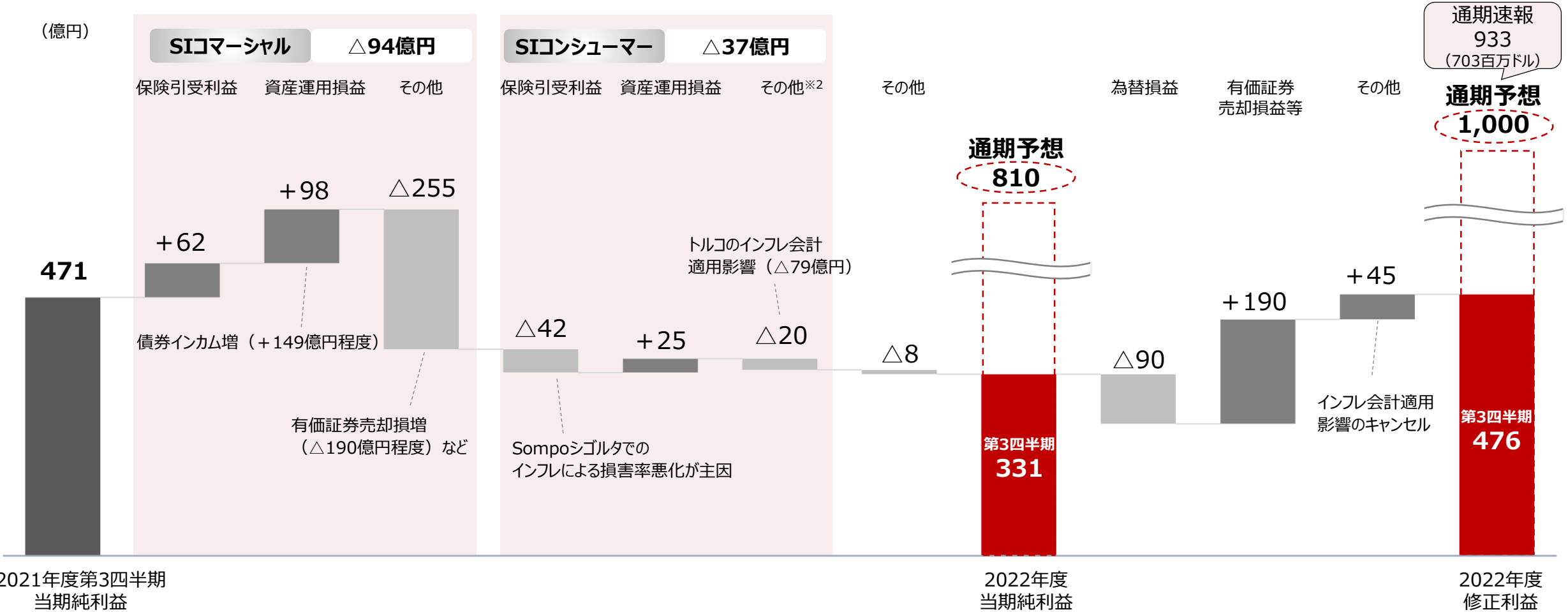
※ 特別損益、法人税等

海外保険事業の業績概況

- 2022年度第3四半期の当期純利益は331億円、SIコマースの有価証券売却損増とトルコでのインフレ会計適用が影響
- 通期修正利益速報は、SIコマースの増益がけん引し、現地通貨ベースで通期予想（693百万ドル）を上回る703百万ドル

当期純利益※1の増減要因

修正利益へのコンバージョン

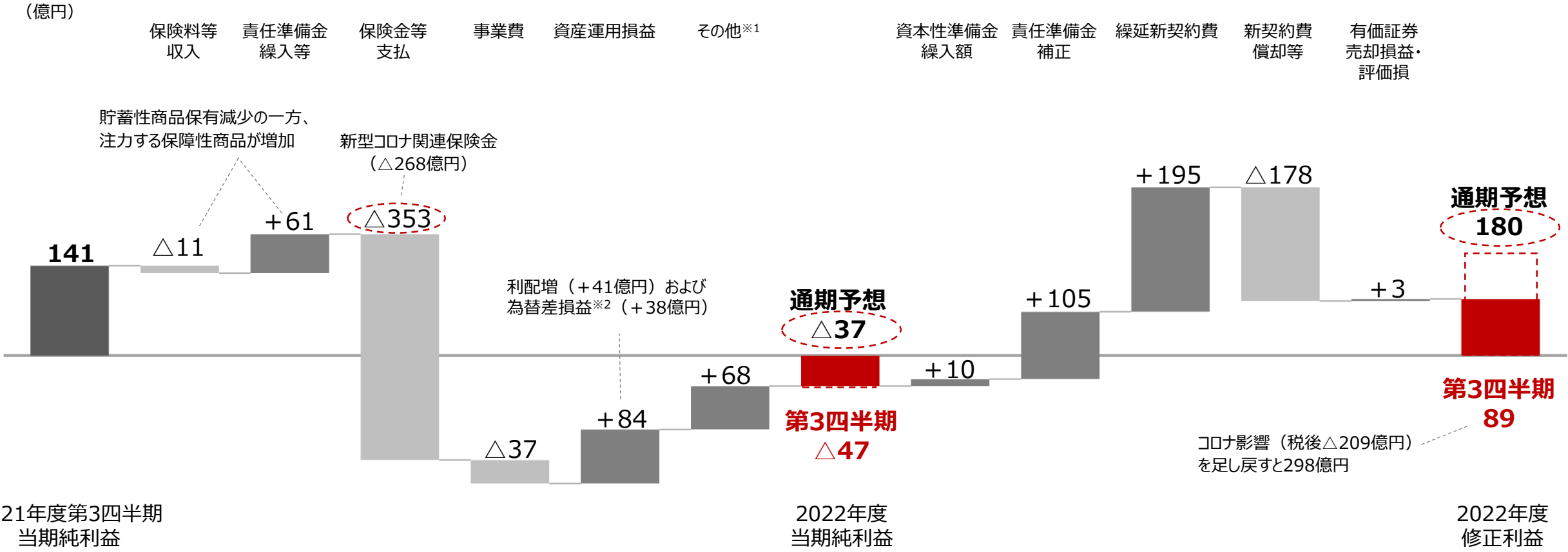


国内生保事業（ひまわり生命）の業績概況

- 2022年度第3四半期は、新型コロナ関連保険金の増加等を主因として対前年で減益も、新型コロナ影響除きの修正利益は298億円
- 第4四半期に見込む新型コロナ関連保険金は10億円と限定的、好調な利配収入も追い風に、通期予想達成を見込む

当期純利益の増減要因

修正利益へのコンバージョン



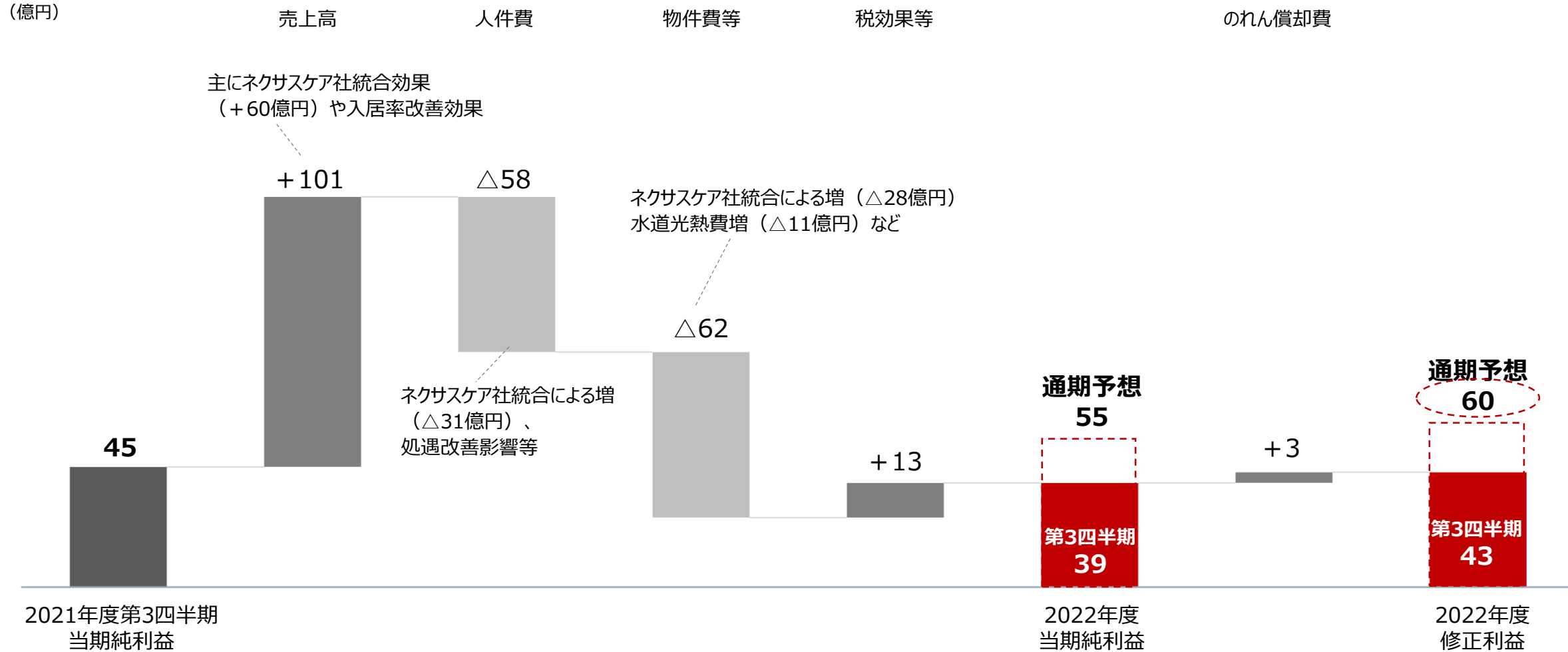
※1 法人税等 ※2 ヘッジコストを含む

介護・シニア事業（SOMPOケア）の業績概況

- 第3四半期の当期純利益、修正利益は想定線で、通期予想に向けて順調

当期純利益の増減要因

修正利益へのコンバージョン



主にネクサスケア社統合効果 (+60億円) や入居率改善効果

ネクサスケア社統合による増 (△28億円)
水道光熱費増 (△11億円) など

ネクサスケア社統合による増 (△31億円)、
処遇改善影響等

(単位：億円)	第3四半期業績			通期業績		
	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減	2021年度実績	2022年度予想	増減
連結経常収益	31,572	36,897	+5,325	41,674	-	-
正味収入保険料	24,551	29,961	+5,410	32,157	38,180	+6,022
生命保険料	2,385	2,353	△31	3,251	3,270	+18
連結経常利益	2,618	567	△2,051	3,155	1,150	△2,005
損保ジャパン	1,406	394	△1,011	2,108	990	△1,118
海外グループ会社※1	641	461	△179	861	1,038	+177
ひまわり生命	205	△57	△262	232	△39	△272
SOMPOケア	70	59	△10	93	80	△12
その他・連結調整等※1※2	294	△291	△586	△140	△920	△779
連結純利益	1,837	376	△1,461	2,248	800	△1,448
損保ジャパン	1,065	338	△727	1,662	840	△822
海外グループ会社※1	471	331	△140	643	810	+167
ひまわり生命	141	△47	△188	159	△37	△197
SOMPOケア	45	39	△5	59	55	△3
その他・連結調整等※1※2	113	△285	△399	△275	△868	△592
(参考) 修正連結利益	2,051	834	△1,216	2,613	1,600	△1,013
国内損保事業	1,278	208	△1,070	1,574	350	△1,224
海外保険事業	444	476	+32	618	1,000	+381
国内生保事業	268	89	△179	336	180	△156
介護・シニア事業	45	43	△1	59	60	+0
デジタル事業等	14	17	+2	24	10	△14

※1 SIにかかる会計基準差異の修正影響を調整

(億円)	2021年度第3四半期	2022年度第3四半期	2021年度(実績)	2022年度(予想)
税前	179	1,874	301	1,878
税後	150	1,566	255	1,575

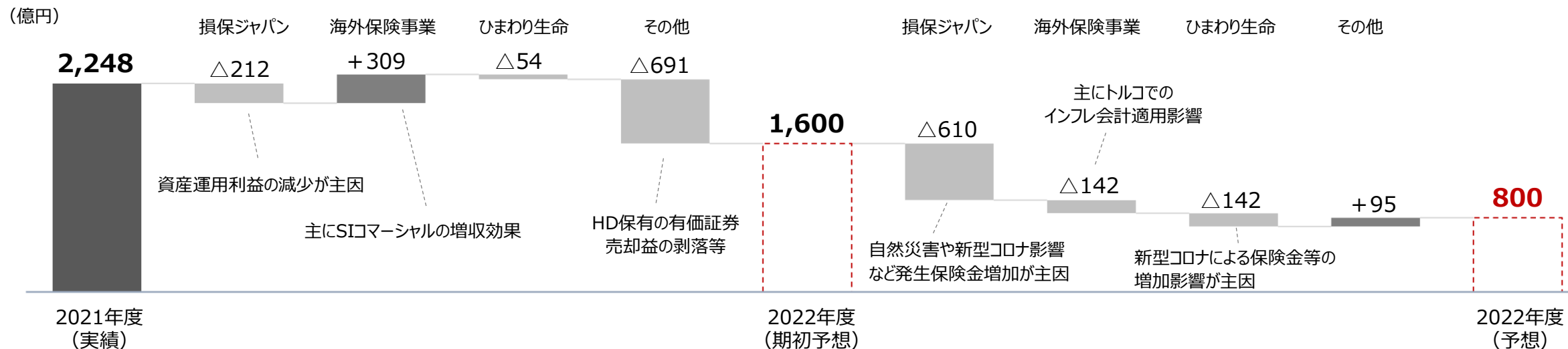
※2 のれんの償却(2022年度第3四半期：214億円)、
パーチェス修正(同：税前32億円、税後23億円)等を含む

(参考) 2022年度通期業績予想修正のブレイクダウン

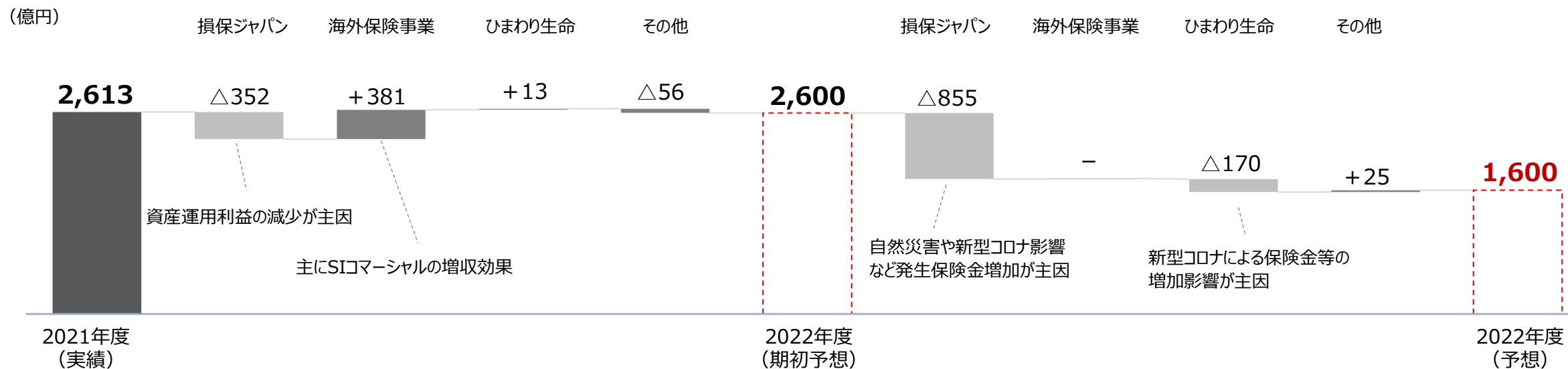
概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



連結純利益の増減要因



修正連結利益の増減要因



事業別詳細

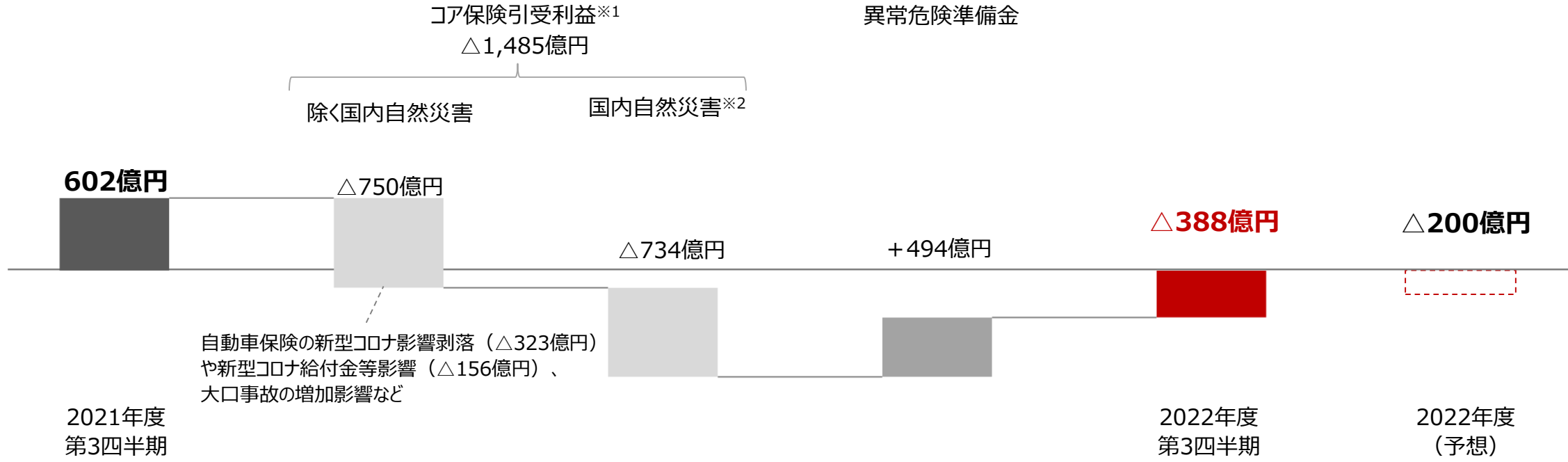
タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	11
海外保険事業	25
国内生保事業	34
介護・シニア事業	40
ERM	43



保険引受利益（損保ジャパン）

- 自然災害のほか、自動車保険や傷害保険における新型コロナ影響を主因に、2022年度第3四半期の保険引受利益は△388億円

保険引受利益の増減要因



	コア保険引受利益			異常危険準備金	保険引受利益
		(除く国内自然災害)	(国内自然災害)		
2021年度第3四半期	1,072億円	1,337億円	△265億円	△470億円	602億円
2022年度第3四半期	△412億円	587億円	△1,000億円	23億円	△388億円

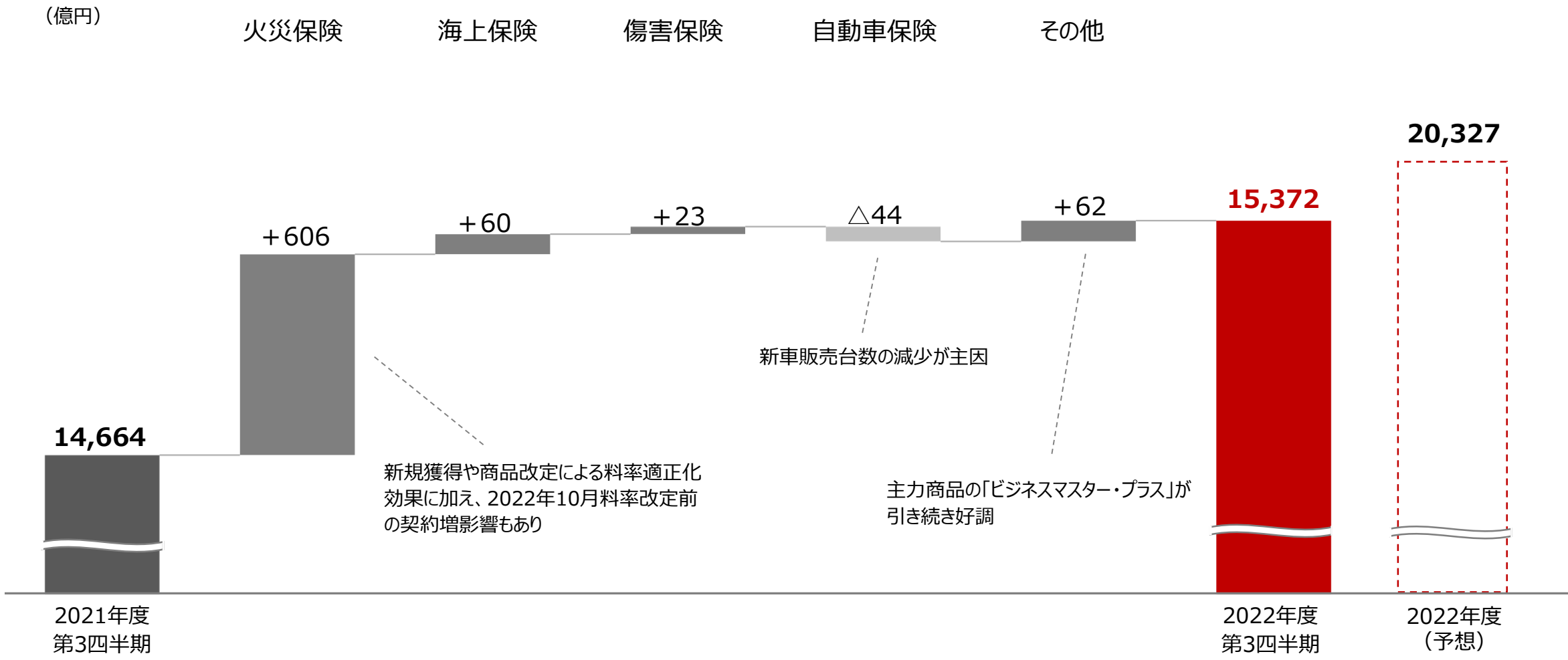
※1 保険引受利益から異常危険準備金に係る影響を除いたもの

※2 第3四半期決算では支払備金を簡便法で算出しており、国内自然災害に係る発生損害額を集計していないため、2022年12月末時点における足元の状況を反映した概算値を記載

正味収入保険料（損保ジャパン）

- 引き続き火災保険・新種保険が好調、2022年度第3四半期の正味収入保険料は+708億円（+4.8%）増収

正味収入保険料（除く自賠責・家計地震）の増減要因



(参考) 正味収入保険料 (損保ジャパン)

	概要		事業別詳細		
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



種目別正味収入保険料

(単位：億円)

	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減		2022年度 (予想)
火災	2,452	3,058	+606	(+24.7%)	4,047
海上	361	422	+60	(+16.8%)	536
傷害	1,171	1,194	+23	(+2.0%)	1,548
自動車	8,141	8,096	△44	(△0.5%)	10,809
自賠責	1,658	1,568	△89	(△5.4%)	2,070
その他	2,538	2,600	+62	(+2.5%)	3,386
うち賠償責任	1,281	1,294	+13	(+1.0%)	1,618
合計	16,324	16,942	+618	(+3.8%)	22,400
合計 (除く自賠責・家計地震)	14,664	15,372	+708	(+4.8%)	20,327

(参考) 自動車保険の台数・単価・保険料
前年同期比 (2022年4月～2022年12月)

(営業成績保険料ベース)

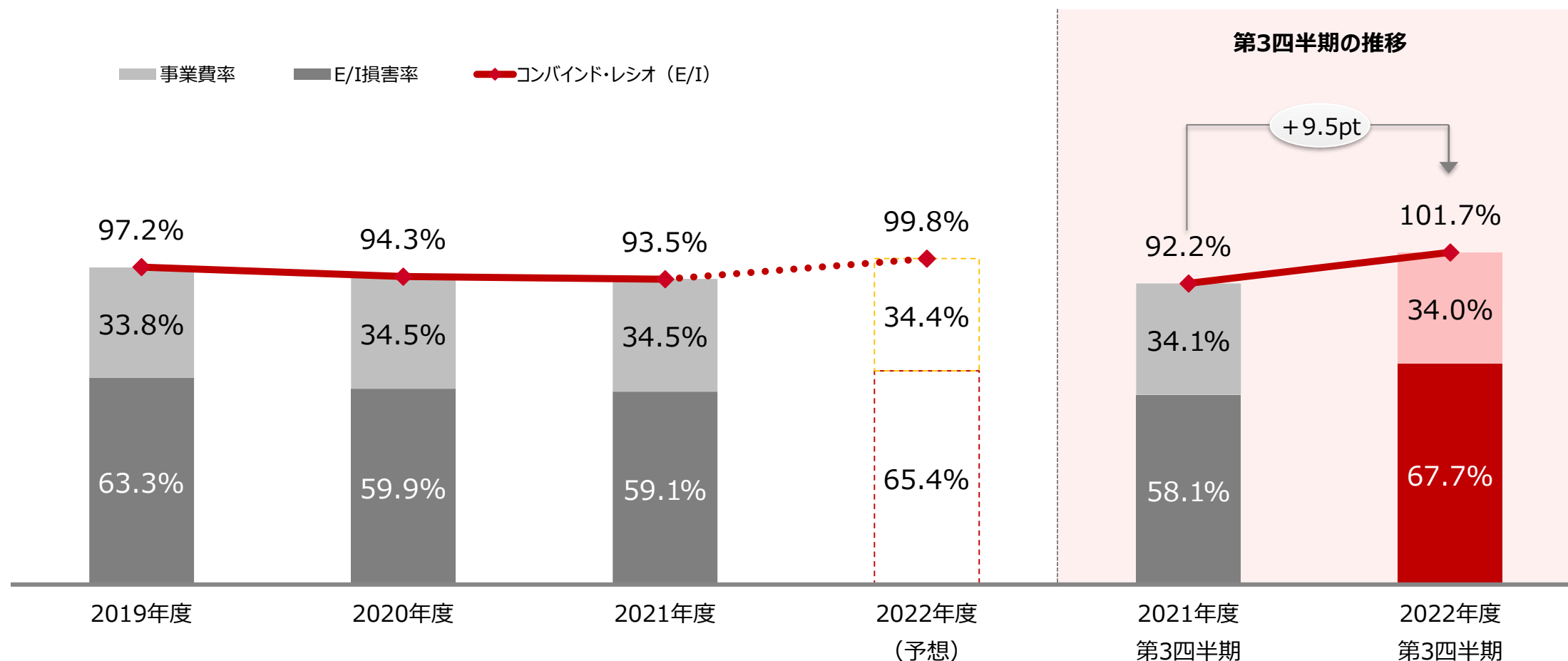
	台数※	単価	保険料
ノンフリート	△0.4%	+0.4%	△0.0%
フリート	+1.2%	△4.0%	△2.8%
合計	△0.1%	△0.4%	△0.5%

※ 時間単位型自動車保険 乗るピタ!を除く

コンバインド・レシオ (損保ジャパン)

- 2022年度第3四半期のコンバインド・レシオは、損害率の上昇により対前年+9.5ptの101.7%

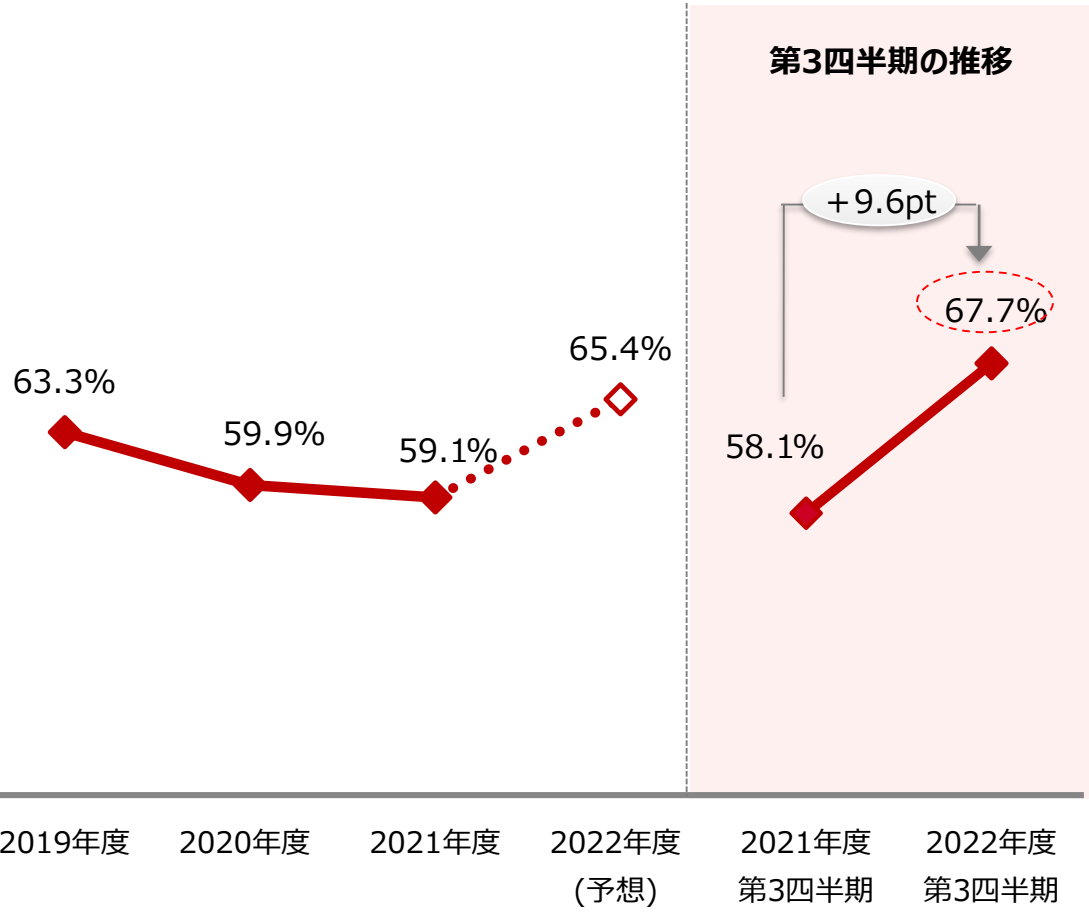
コンバインド・レシオ (E/I) (除く自賠責・家計地震)



損害率（損保ジャパン）

- 2022年度第3四半期のE/I損害率は、自然災害影響（+4.9pt）、新型コロナ影響（+3.3pt）を主因に、67.7%
- 中間期から火災保険を中心に損害率は改善、通期業績予想に向けては計画線で推移

E/I損害率（除く自賠責・家計地震）の推移



種目別E/I損害率

	2022年度第3四半期		2022年度（予想）
	損害率	増減	損害率
火災（除く家計地震）	89.7%	+25.5pt	82.1%
海上	49.1%	△10.3pt	61.9%
傷害	62.1%	+11.5pt	62.4%
自動車	64.2%	+6.6pt	61.2%
その他	60.9%	+3.7pt	62.5%
合計（除く自賠責・家計地震）	67.7%	+9.6pt	65.4%

(主な増減要因) 火災：自然災害影響（+19.0pt） 傷害：新型コロナ関連の支払い影響（+10.5pt）
自動車：新型コロナ影響の一部剥落（交通量増加）および自然災害影響（+6.4pt）

（参考）種目別W/P損害率

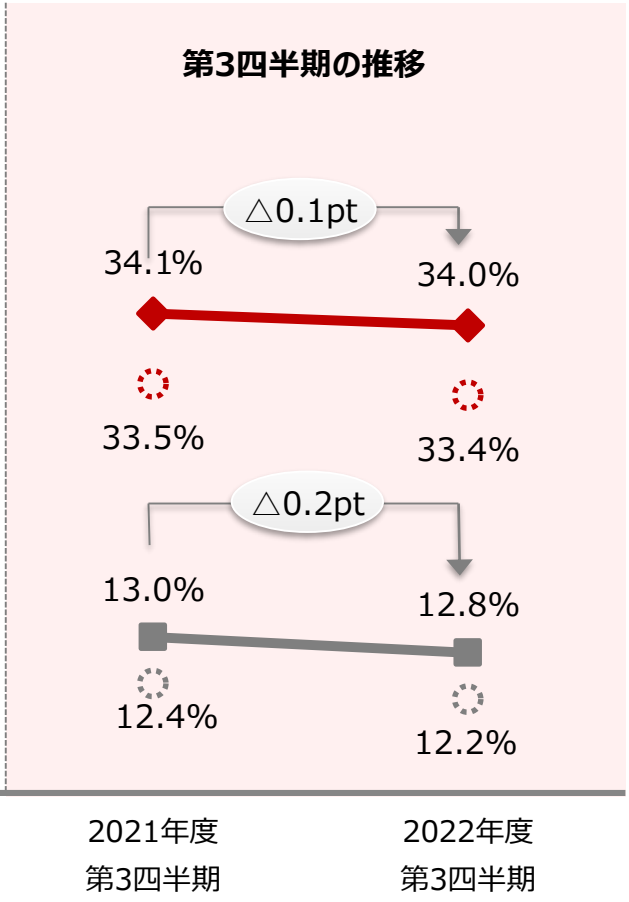
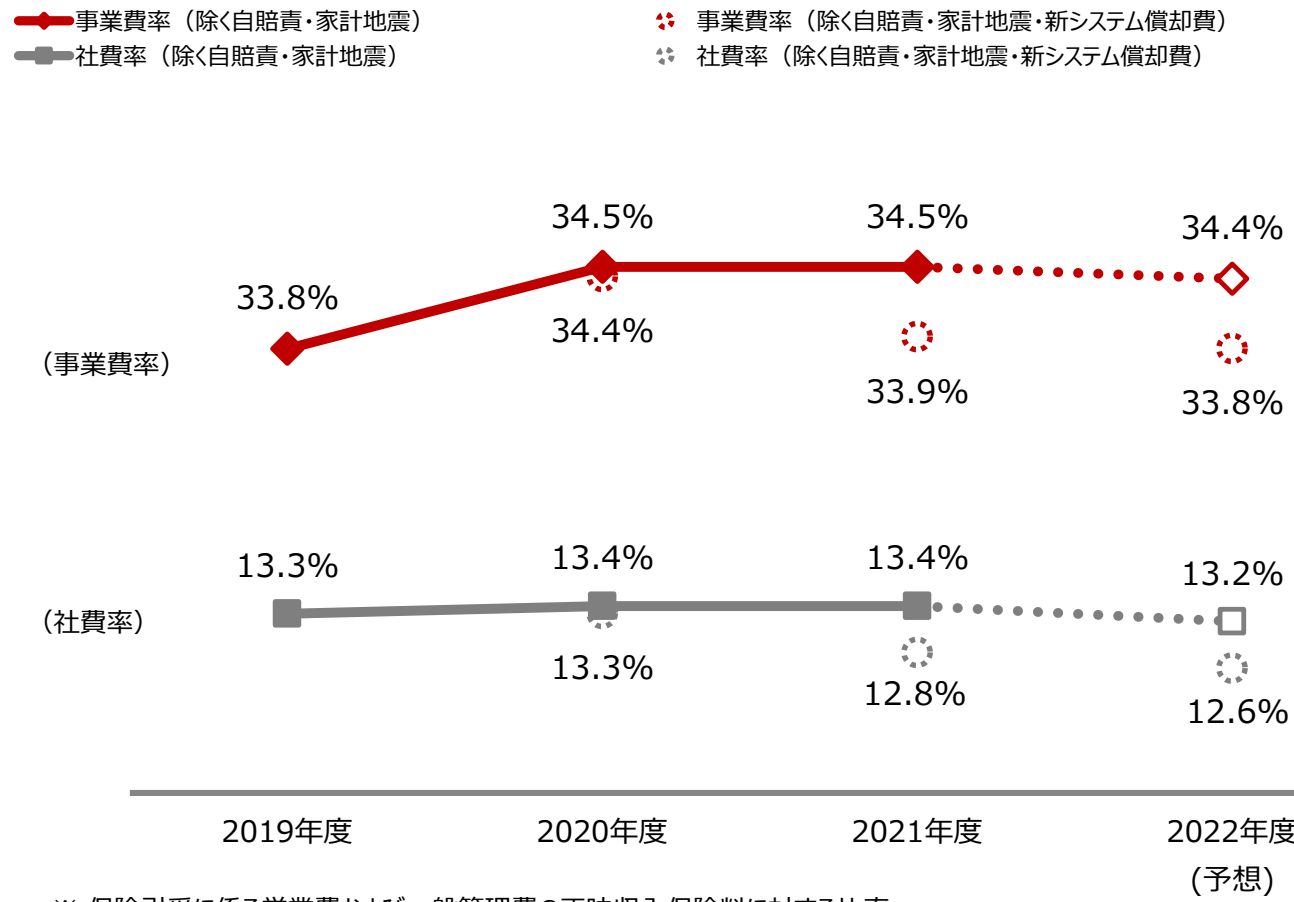
	2022年度第3四半期		2022年度（予想）
	損害率	増減	損害率
火災（除く家計地震）	72.4%	+2.4pt	69.8%
海上	40.0%	△9.0pt	53.3%
傷害	61.1%	+12.5pt	59.8%
自動車	59.9%	+4.2pt	59.3%
その他	56.5%	+4.0pt	59.4%
合計（除く自賠責・家計地震）	61.3%	+4.5pt	61.3%

※ 2022年度第3四半期の外貨建支払備金の為替影響（繰入額）27億円（+0.2pt）

事業費率（損保ジャパン）

- 2022年度第3四半期は、事業費率および社費率とも計画対比で良好に推移

事業費率・社費率※（除く自賠責・家計地震）の推移

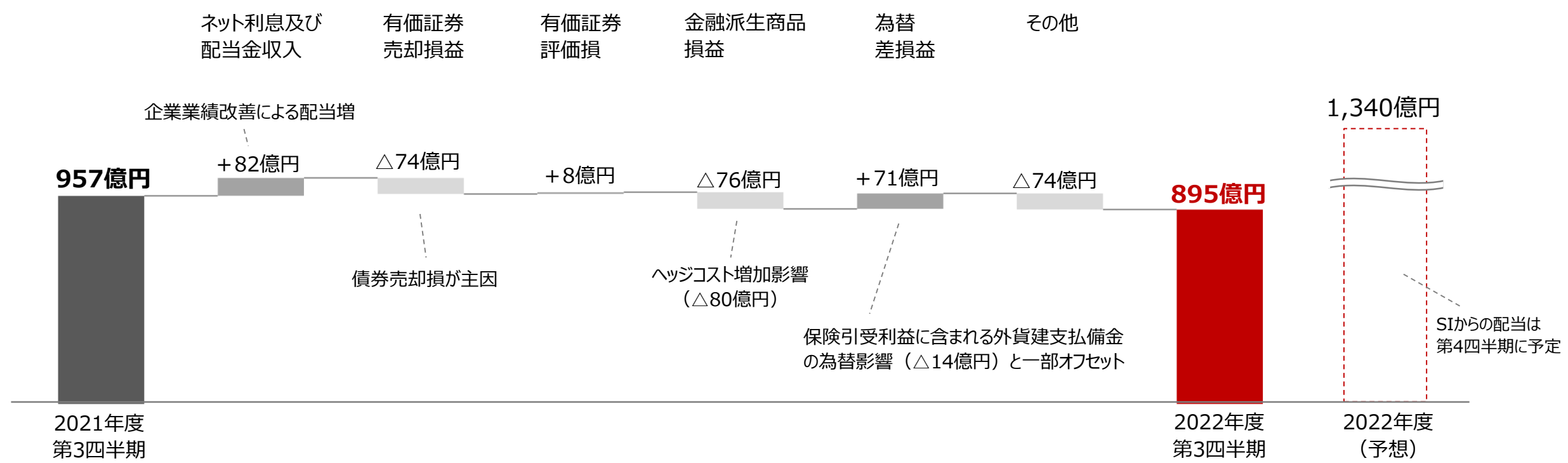


※ 保険引受に係る営業費および一般管理費の正味収入保険料に対する比率

資産運用損益（損保ジャパン）

- 2022年度第3四半期の資産運用利益は、企業業績改善による株式配当増により、「ネット利息及び配当金収入」が対前年 + 82億円と好調
- 通期に向けては、政策株式削減による有価証券売却益、好調な利配収入などによる上積みを見込む

資産運用損益の増減要因



	ネット利息及び配当金収入	有価証券売却損益	有価証券評価損	金融派生商品損益	為替差損益	その他	資産運用損益
2021年度第3四半期	650億円	261億円	△21億円	2億円	30億円	35億円	957億円
2022年度第3四半期	733億円	186億円	△13億円	△74億円	102億円	△38億円	895億円

(参考) 自動車保険関連の指標 (損保ジャパン)

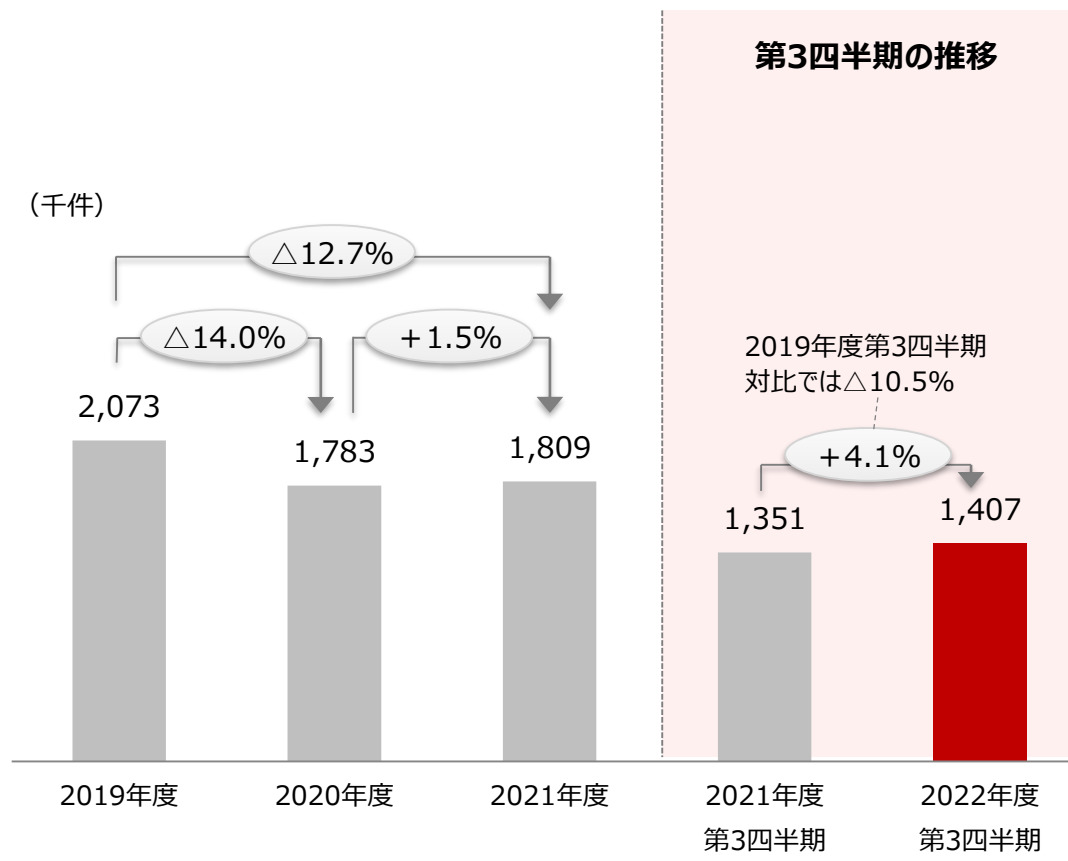
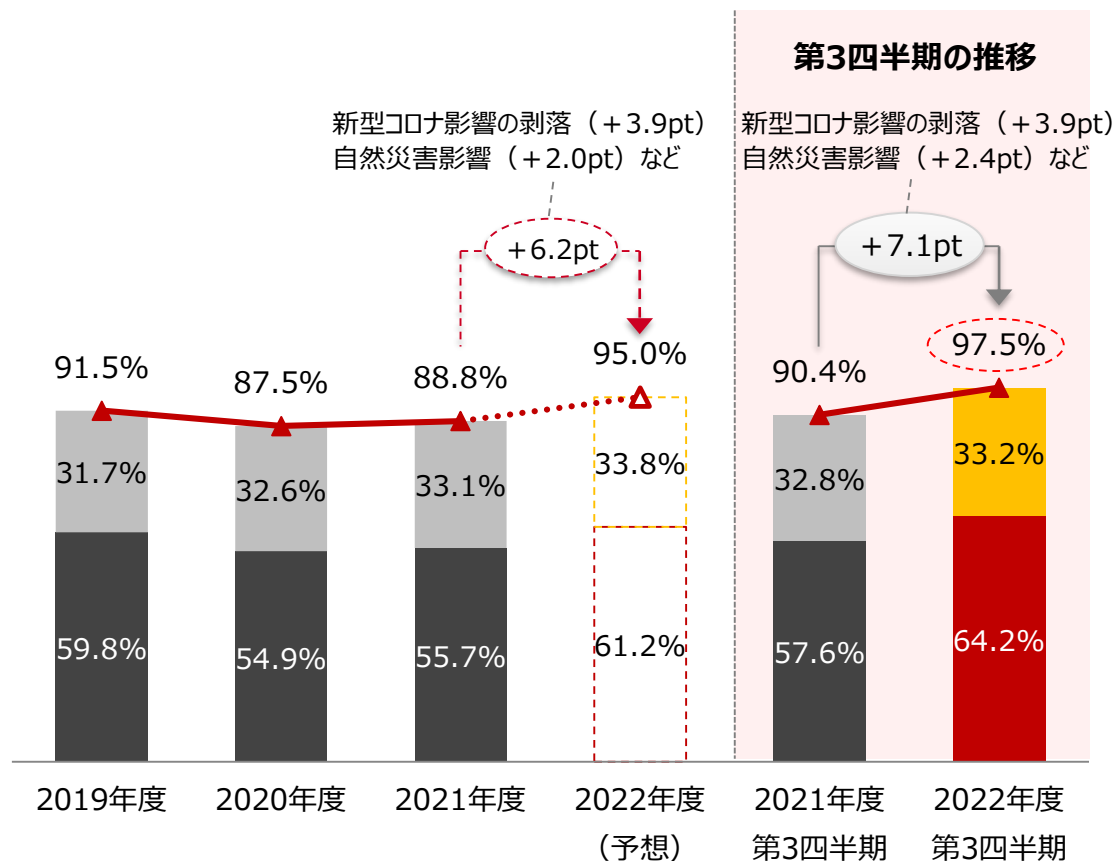
概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



コンバインド・レシオ (E/I) の推移

事故受付件数※2の推移

■ 損害率※1 ■ 事業費率 ▲ コンバインド・レシオ (E/I)



※1 E/Iベース (含む損調費)

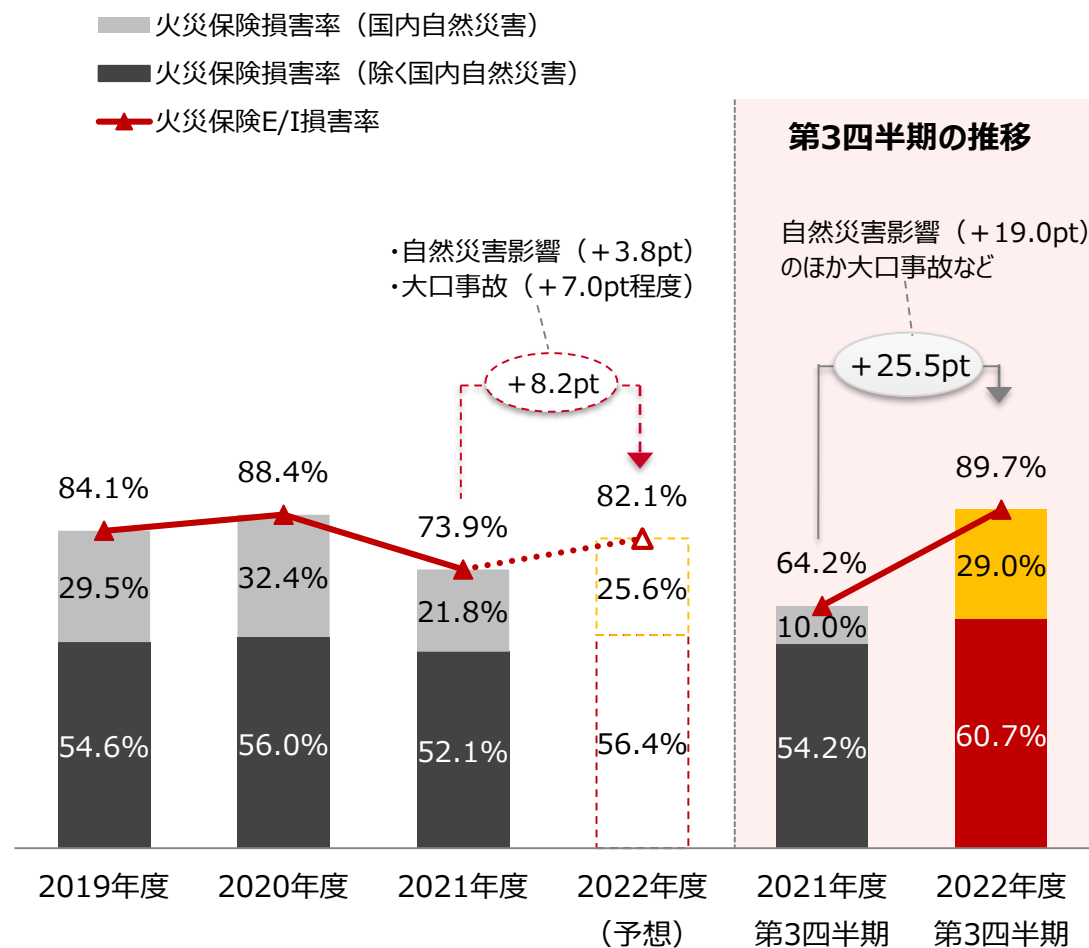
※2 発生損害が一定額を超過した自然災害に係る件数を除く

(参考) 火災保険、新種保険関連の指標 (損保ジャパン)

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM

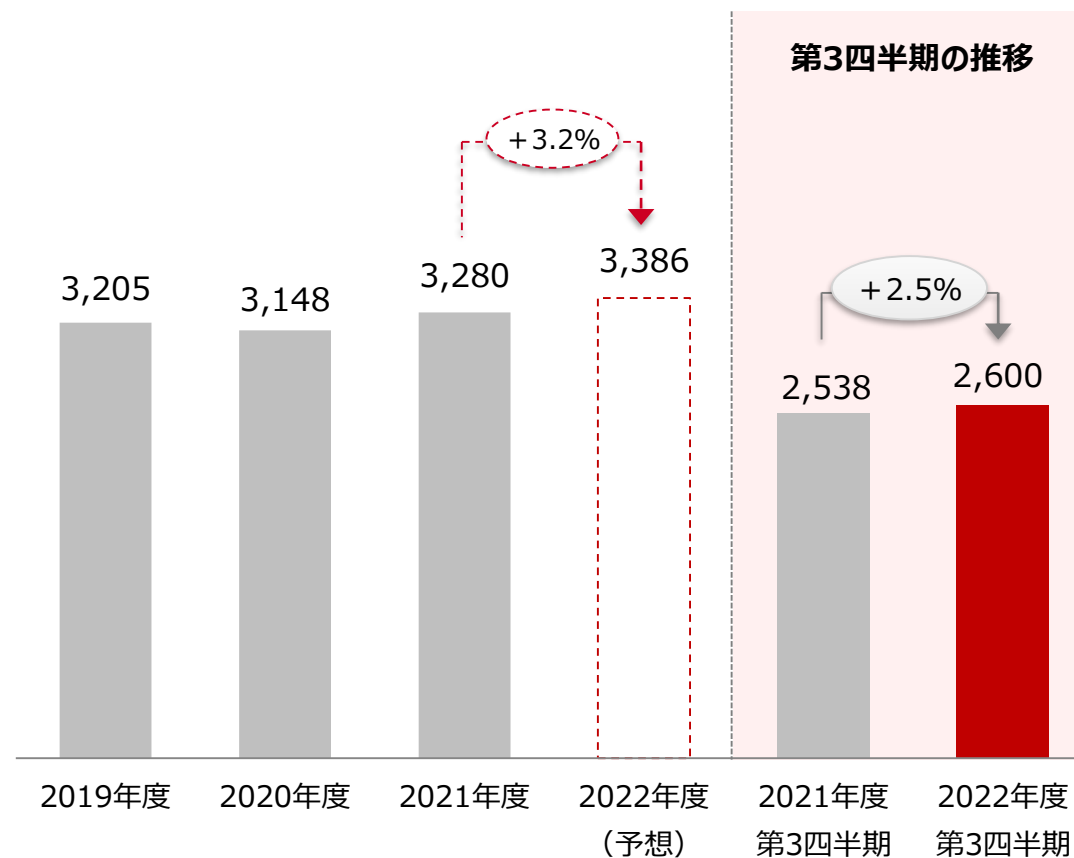


火災保険※のE/I損害率の推移



新種保険正味収入保険料の推移

(億円)



※ 除く家計地震

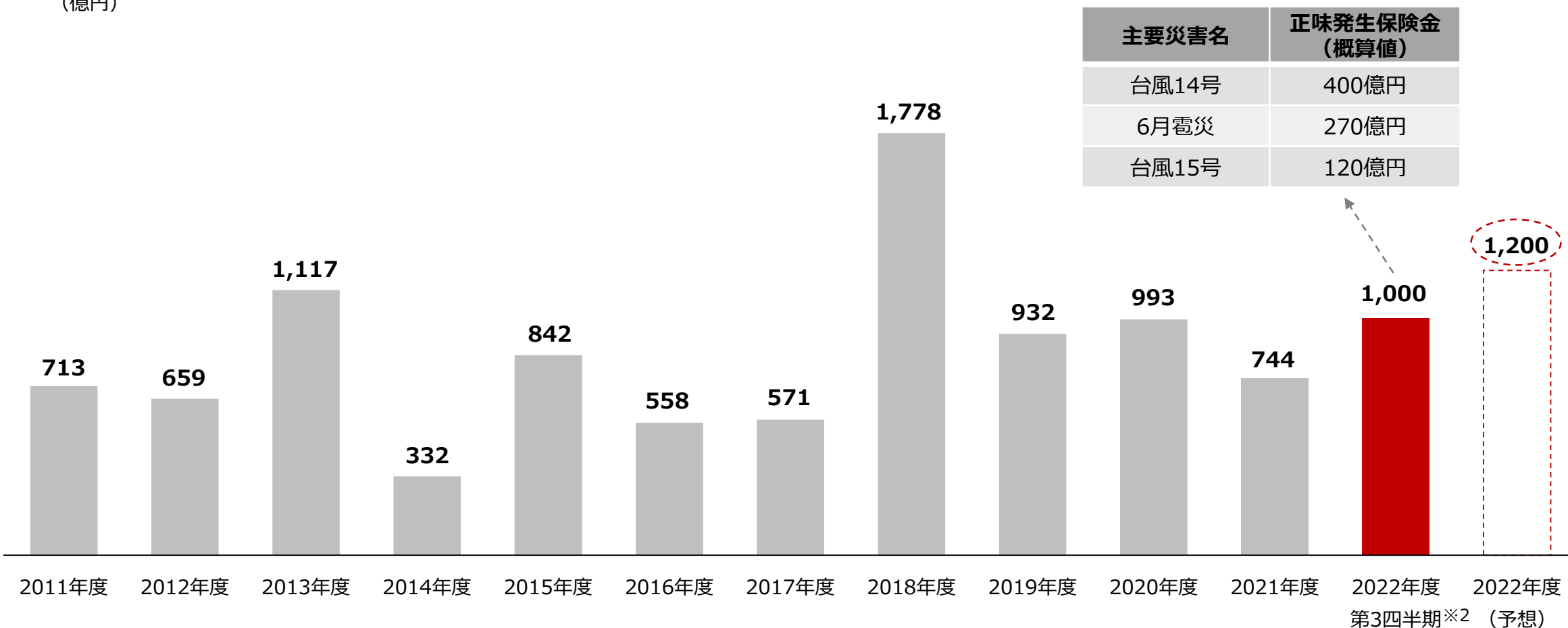
(参考) 国内自然災害 (損保ジャパン)

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



国内自然災害の正味発生損害 (当年度発生) ※1

(億円)



※1 除く自賠償・家計地震

※2 第3四半期決算では支払備金を簡便法で算出してあり、国内自然災害に係る発生損害額を集計していないため、2022年12月末時点における足元の状況を反映した概算値を記載

(参考) 資産運用損益内訳 (損保ジャパン)

	概要		事業別詳細		
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



資産運用損益

(単位：億円)	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減	2022年度 (予想)
ネット利息及び配当金収入	650	733	+82	1,274
利息及び配当金収入	874	945	+71	1,561
(うち海外子会社配当金)	2	13	+11	497
有価証券売却損益	261	186	△74	194
(うち国内株式)	252	306	+53	320
有価証券評価損	△21	△13	+8	△73
(うち国内株式)	△21	△13	+8	△33
金融派生商品損益	2	△74	△76	△157
為替差損益	30	102	+71	129
その他損益	35	△38	△74	△26
資産運用損益	957	895	△62	1,340

(参考) 政策株式削減額

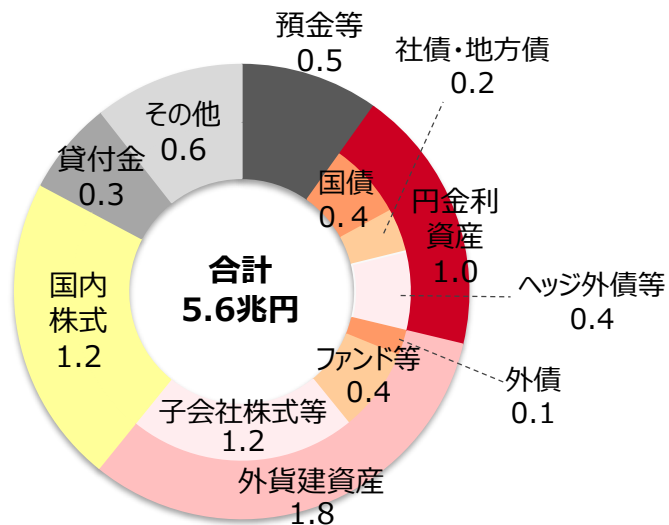
現物※1	502億円
先物※2	86億円
合計	589億円

※1 時価ベースのネット削減額
(売却時価－購入時価)
2022年度削減目標額700億円
※2 日経平均先物の売建て

(参考) 資産ポートフォリオ (損保ジャパン)

資産ポートフォリオ (2022年12月末、一般勘定)

(兆円)



2022年 3月末 2022年 12月末

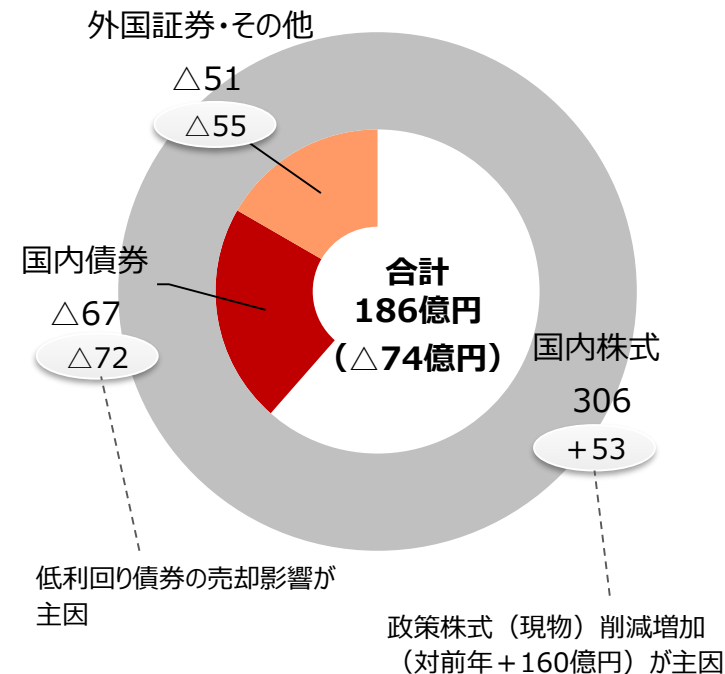
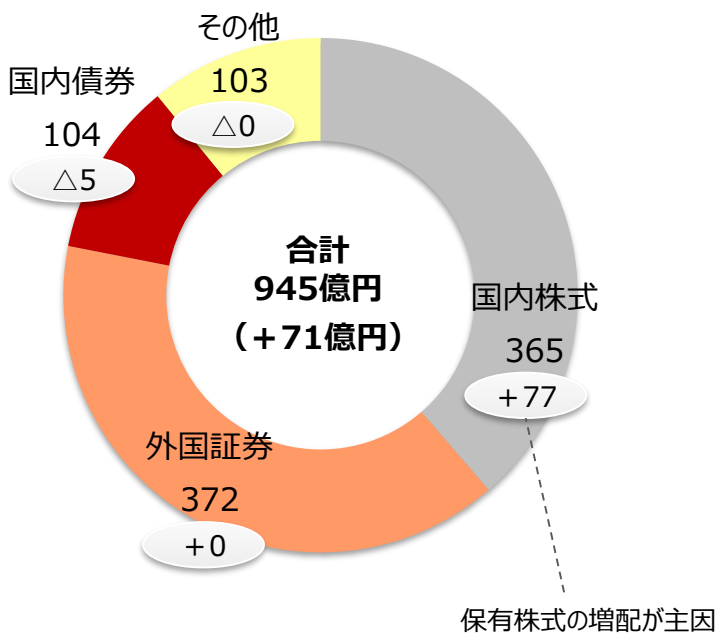
インカム利回り*		3.0%	2.4%
デュレーション	資産	7.9年	7.7年
	負債	7.7年	7.4年

※ 海外グループ会社株式等を除く

(参考) 円金利資産、外貨建債券の格付構成：BB格以下の保有なし

利息及び配当金収入及び有価証券売却益の内訳 (2022年度第3四半期)

(億円)



○ : 2021年度第3四半期対比の増減額

(参考) 決算数値 (損保ジャパン)

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



(単位：億円)	第3四半期業績			通期業績予想		
	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減	2021年度 実績	2022年度 予想	増減
正味収入保険料	16,324	16,942	+618	21,587	22,400	+812
(除く自賠責・家計地震)	14,664	15,372	+708	19,417	20,327	+910
既経過保険料 (除く自賠責・家計地震)	14,547	14,896	+349	19,377	19,943	+565
E/I損害率 (除く自賠責・家計地震)	58.1%	67.7%	+9.6pt	59.1%	65.4%	+6.3pt
正味損害率	59.2%	62.9%	+3.6pt	59.8%	63.5%	+3.8pt
(除く自賠責・家計地震)	56.8%	61.3%	+4.5pt	57.4%	61.3%	+3.9pt
正味事業費率	33.6%	33.5%	△0.1pt	33.7%	33.8%	+0.1pt
(除く自賠責・家計地震)	34.1%	34.0%	△0.1pt	34.5%	34.4%	△0.0pt
コンバインド・レシオ (E/I) ※1 (除く自賠責・家計地震)	92.2%	101.7%	+9.5pt	93.5%	99.8%	+6.3pt
(参考) コンバインド・レシオ (W/P) (除く自賠責・家計地震)	90.9%	95.3%	+4.4pt	91.9%	95.7%	+3.8pt
保険引受利益	602	△388	△991	630	△200	△830
資産運用利益	957	895	△62	1,633	1,340	△292
経常利益	1,406	394	△1,011	2,108	990	△1,118
当期純利益	1,065	338	△727	1,662	840	△822
異常危険準備金繰入額等 (税引後)	+340	△12	△353	+418	+44	△373
価格変動準備金繰入額 (税引後)	+22	+23	+1	+30	+29	△0
有価証券売却損益・評価損 (税引後)	△167	△121	+46	△258	△66	+192
特殊要因 (税引後) ※2	+27	△16	△51	△289	△493	△203
修正利益	1,289	211	△1,084	1,562	355	△1,207

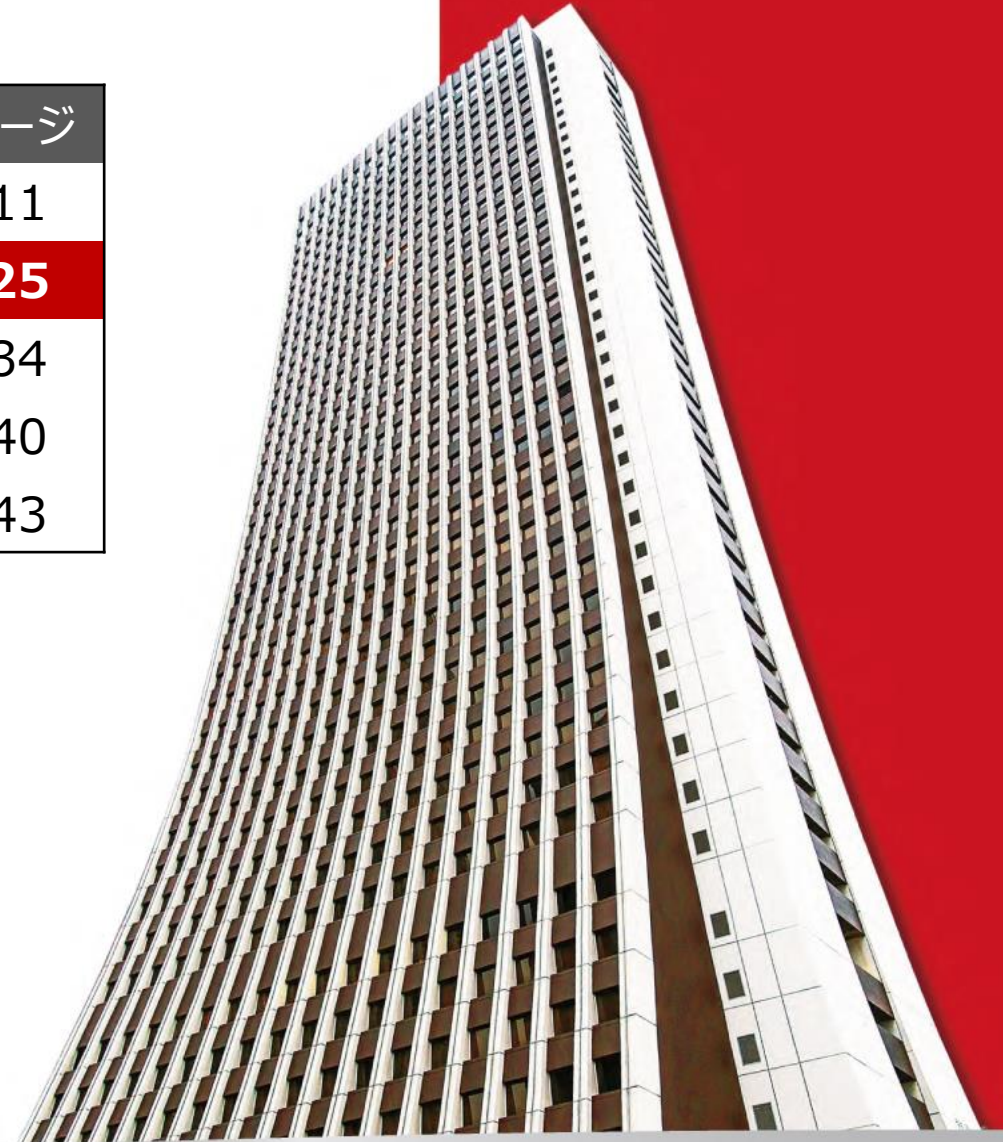
※1 E/I損害率+正味事業費率

※2 グループ会社配当、株式先物関連損益等

(参考)
修正利益

事業別詳細

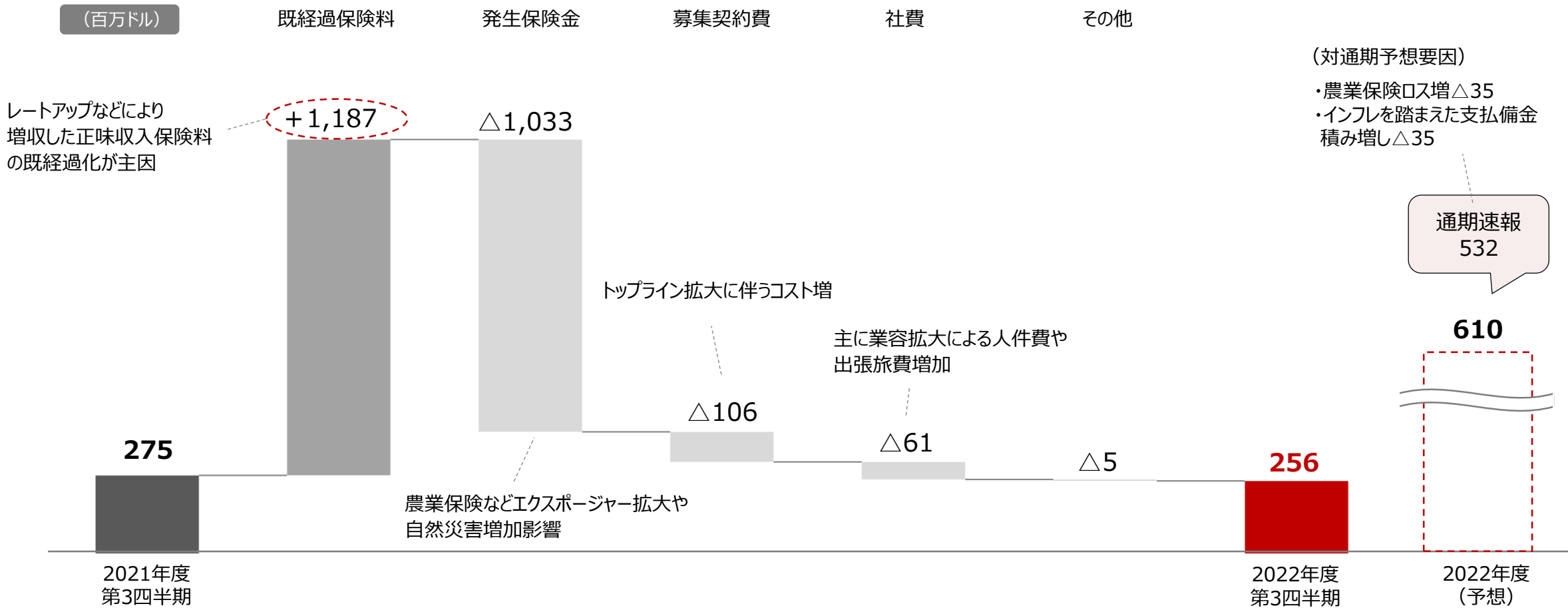
タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	11
海外保険事業	25
国内生保事業	34
介護・シニア事業	40
ERM	43



保険引受利益 (SIコマーシャル)

- ハリケーン・イアン等の自然災害影響をトップライン増収で一部オフセットし、2022年度第3四半期の保険引受利益は256百万ドル
- 2022年度通期の保険引受利益は、増収によるコンバインド・レシオ改善を主因に、対前年+25%の532百万ドル (速報)

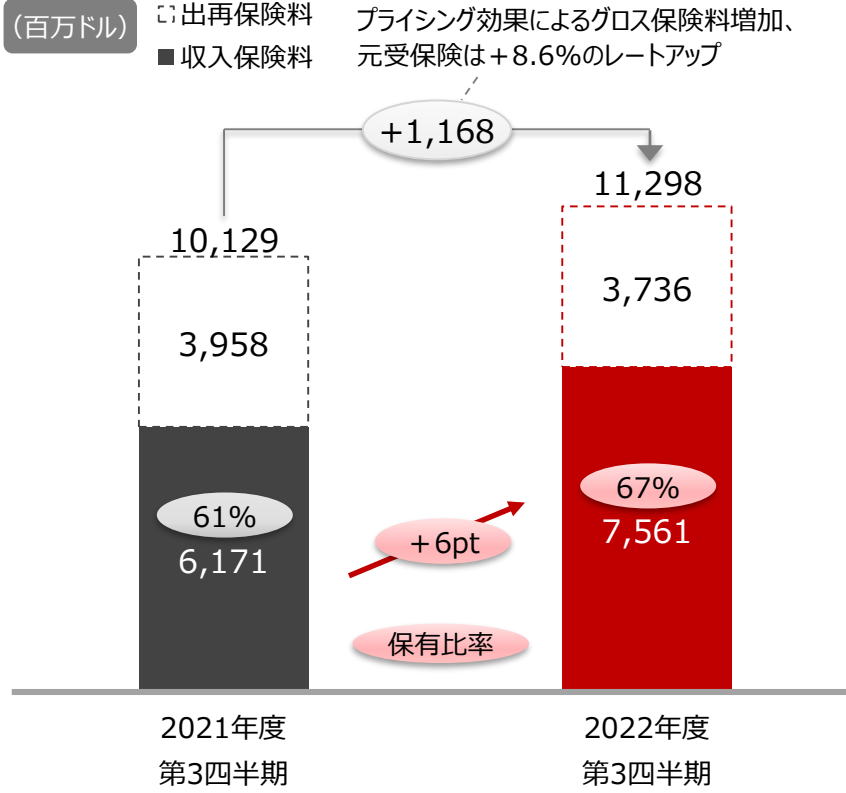
保険引受利益の増減要因



収入保険料 (SIコマーシャル)

- 2022年度第3四半期の正味収入保険料は+22.5%増収の7,561百万ドルと順調
- プライシング効果、農業保険の保有増加、カジュアルティ種目での増収のトレンドは通期に向けても継続

グロス保険料



(第3四半期の主な増減要因)

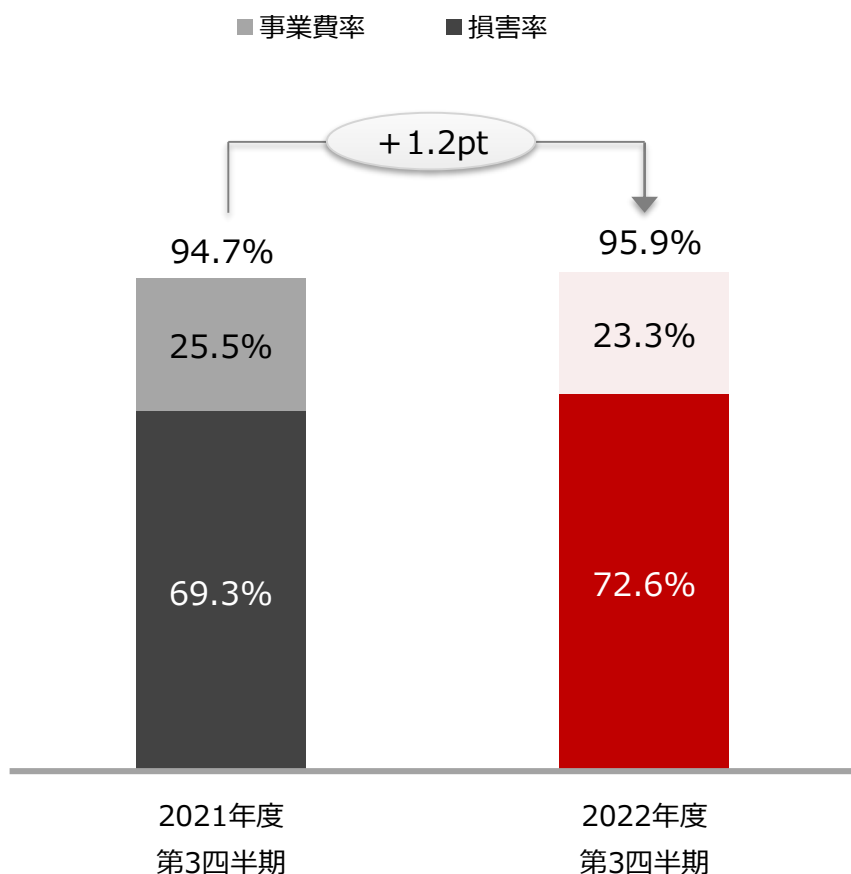
元受保険 (除く農業) : プロパティ、カジュアルティ種目で継続的なレートアップ
 農業保険 : 作物価格上昇影響および旧ダイバーシファイド社契約の保有比率引き上げ
 再保険 : カジュアルティ種目 (企業賠償責任保険等) での増収

(参考) セグメント別トップライン (単位: 百万ドル)	2022年度 第3四半期	対前年増減	2022年度 予想	2022年度 速報
グロス保険料				
元受保険 (除く農業)	4,500	+239 (+5.6%)	-	-
農業保険	2,976	+505 (+20.4%)	-	-
再保険	3,820	+424 (+12.5%)	-	-
合計	11,298	+1,168 (+11.5%)	13,465	13,483
正味収入保険料				
元受保険 (除く農業)	2,475	+205 (+9.1%)	-	-
農業保険	1,610	+739 (+85.0%)	-	-
再保険	3,447	+417 (+13.8%)	-	-
合計	7,561	+1,390 (+22.5%)	8,993	8,904
既経過保険料				
元受保険 (除く農業)	2,405	+458 (+23.5%)	-	-
農業保険	1,238	+504 (+68.8%)	-	-
再保険	2,630	+209 (+8.7%)	-	-
合計	6,289	+1,187 (+23.3%)	8,437	8,444
保有比率				
元受保険 (除く農業)	55%	+2pt	-	-
農業保険	54%	+19pt	-	-
再保険	90%	+1pt	-	-
合計	67%	+6pt	67%	66%

コンバインド・レシオ (SIコマーシャル)

- 自然災害の影響 (+8.5pt) により、2022年度第3四半期のコンバインド・レシオは95.9%
- 2022年度通期のコンバインド・レシオは、自然災害影響の平準化、増収効果により93.5% (速報)

コンバインド・レシオ



(参考) セグメント別コンバインド・レシオ

	2022年度 第3四半期	対前年増減	2022年度 予想	2022年度 速報	
損害率	元受保険 (除く農業)	75.8%	+ 6.5pt	-	69.6%
	農業保険	86.9%	△0.1pt	-	93.3%
	再保険	63.1%	△0.9pt	-	60.0%
	合計	72.6%	+ 3.3pt	69.5%	70.2%
事業費率	元受保険 (除く農業)	22.0%	△0.2pt	-	22.2%
	農業保険	8.4%	△5.3pt	-	5.9%
	再保険	29.5%	△0.1pt	-	30.1%
	合計	23.3%	△2.1pt	23.3%	23.3%
コンバインド・レシオ	元受保険 (除く農業)	97.8%	+ 6.4pt	-	91.7%
	農業保険	95.3%	△5.3pt	-	99.2%
	再保険	92.6%	△0.9pt	-	90.1%
	合計	95.9%	+ 1.2pt	92.8%	93.5%

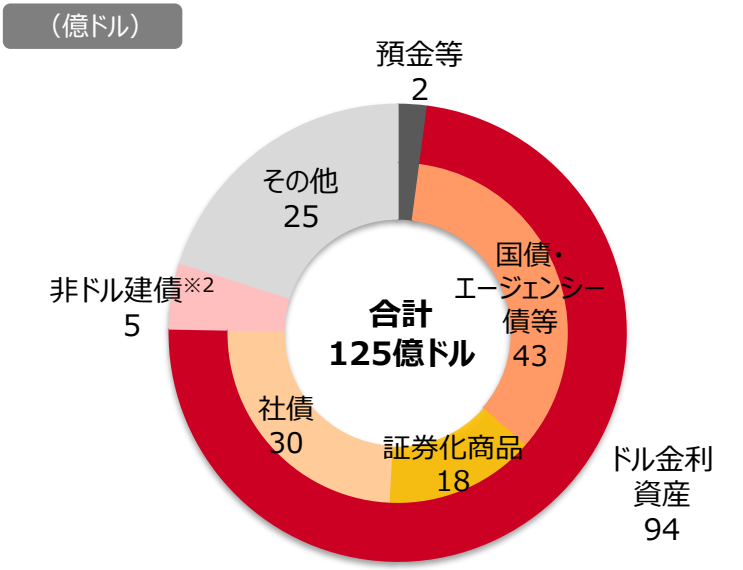
(第3四半期コンバインドレシオの主な増減要因)

- 元受保険 (除く農業) : ハリケーンイアン等の自然災害影響
- 農業保険 : ダイバーシファイド社統合後の社費削減
- 再保険 : プライシングによる増収効果

資産ポートフォリオ・資産運用損益（SIコマーシャル）

- 運用資産額増加による利配収入増を主因に、第3四半期の資産運用損益は267百万ドル
- 2022年度通期では、米国金利上昇による再投資利回り増を主因に、速報で418百万ドル

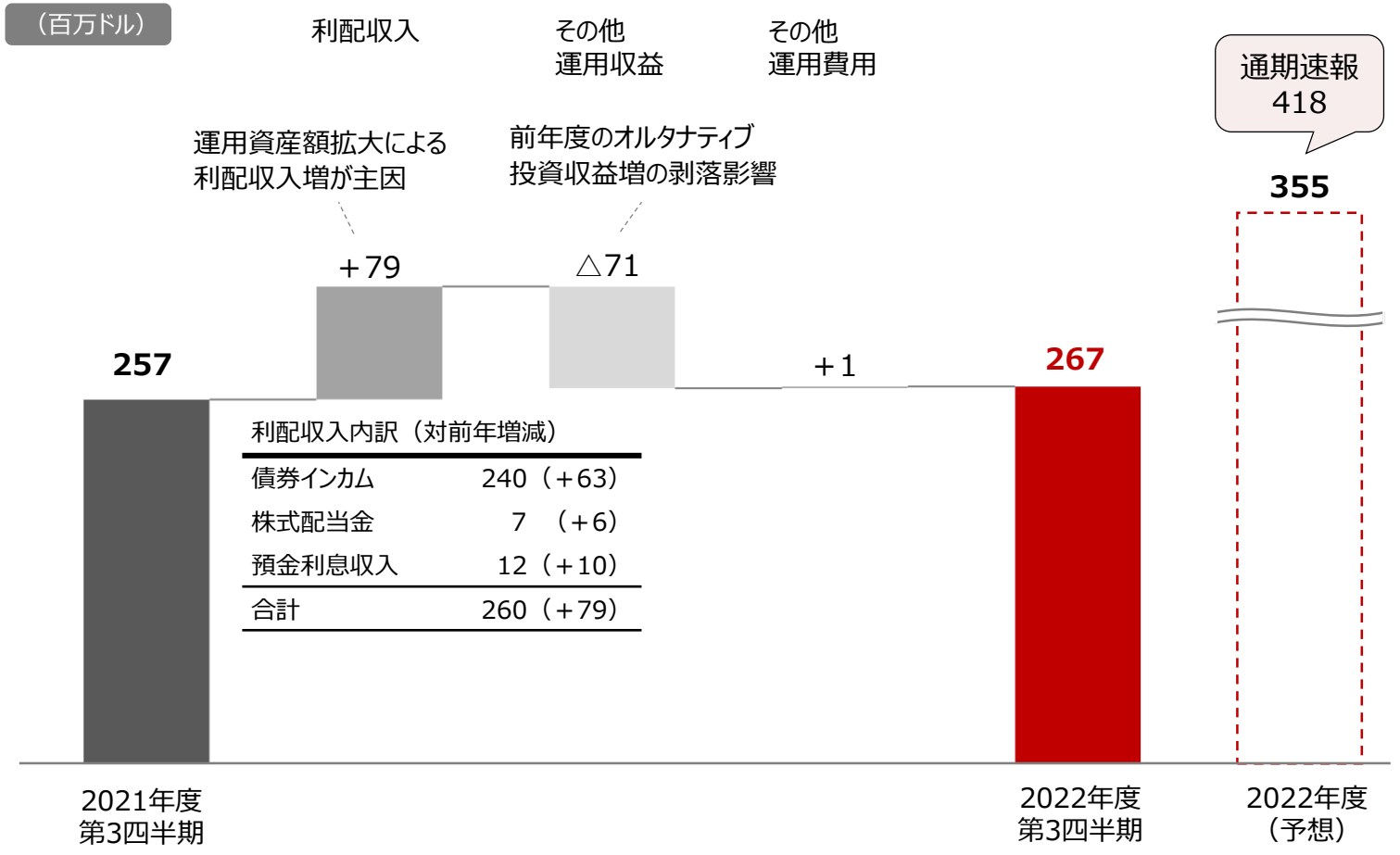
資産ポートフォリオ※1（2022年9月末）



	2021年 12月末	2022年 9月末
債券簿価利回り	2.1%	3.1%
デュレーション	資産	3.1年
	負債	3.1年
	2.5年	

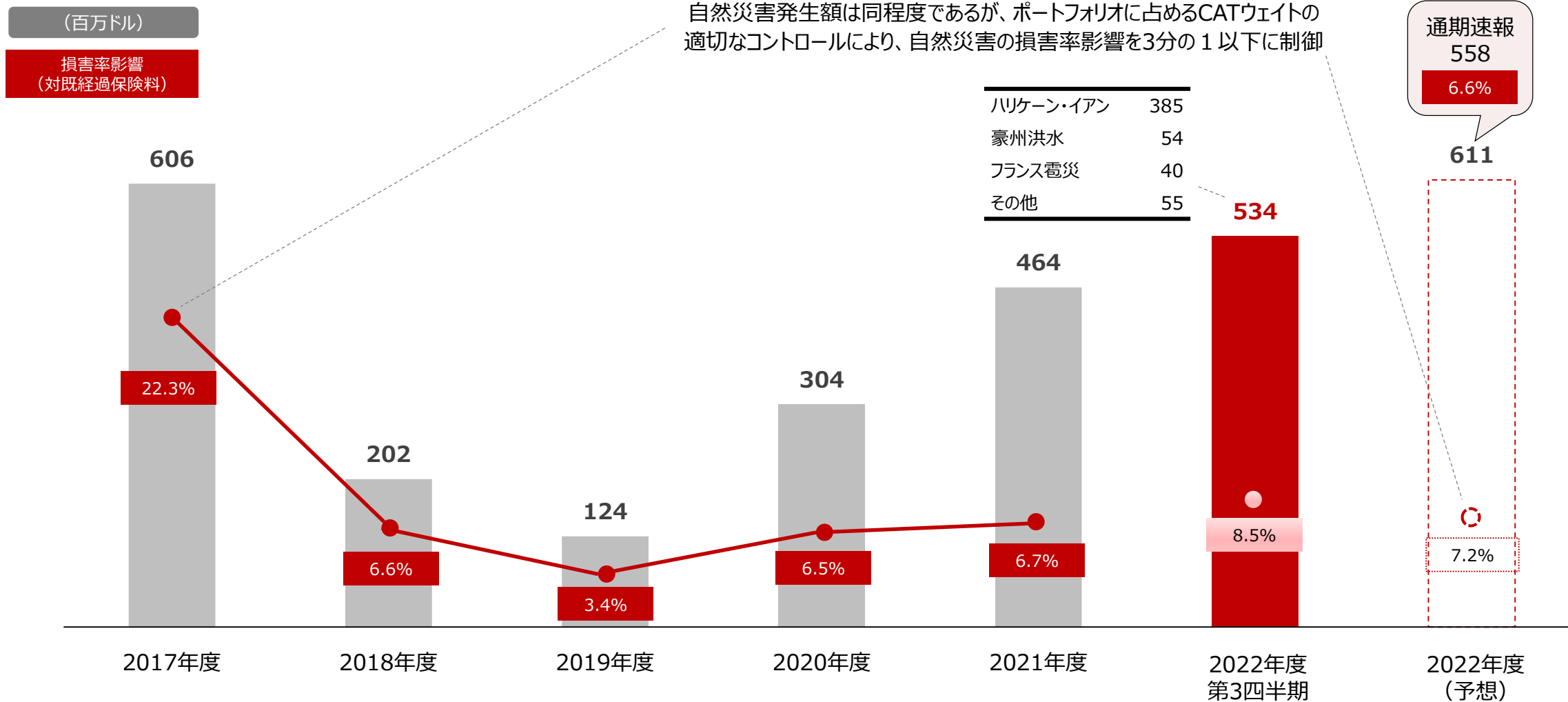
※1 債券資産の格付構成：BB格以下は全体の10%
 ※2 一部預金含む

資産運用損益の内訳（2022年度第3四半期）



(参考) 海外自然災害 (SIコマース)

海外自然災害の正味発生損害 (当年度発生)



(参考) 決算数値 (SIコマース)

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



第3四半期業績

通期業績予想

通期業績速報

(百万ドル)

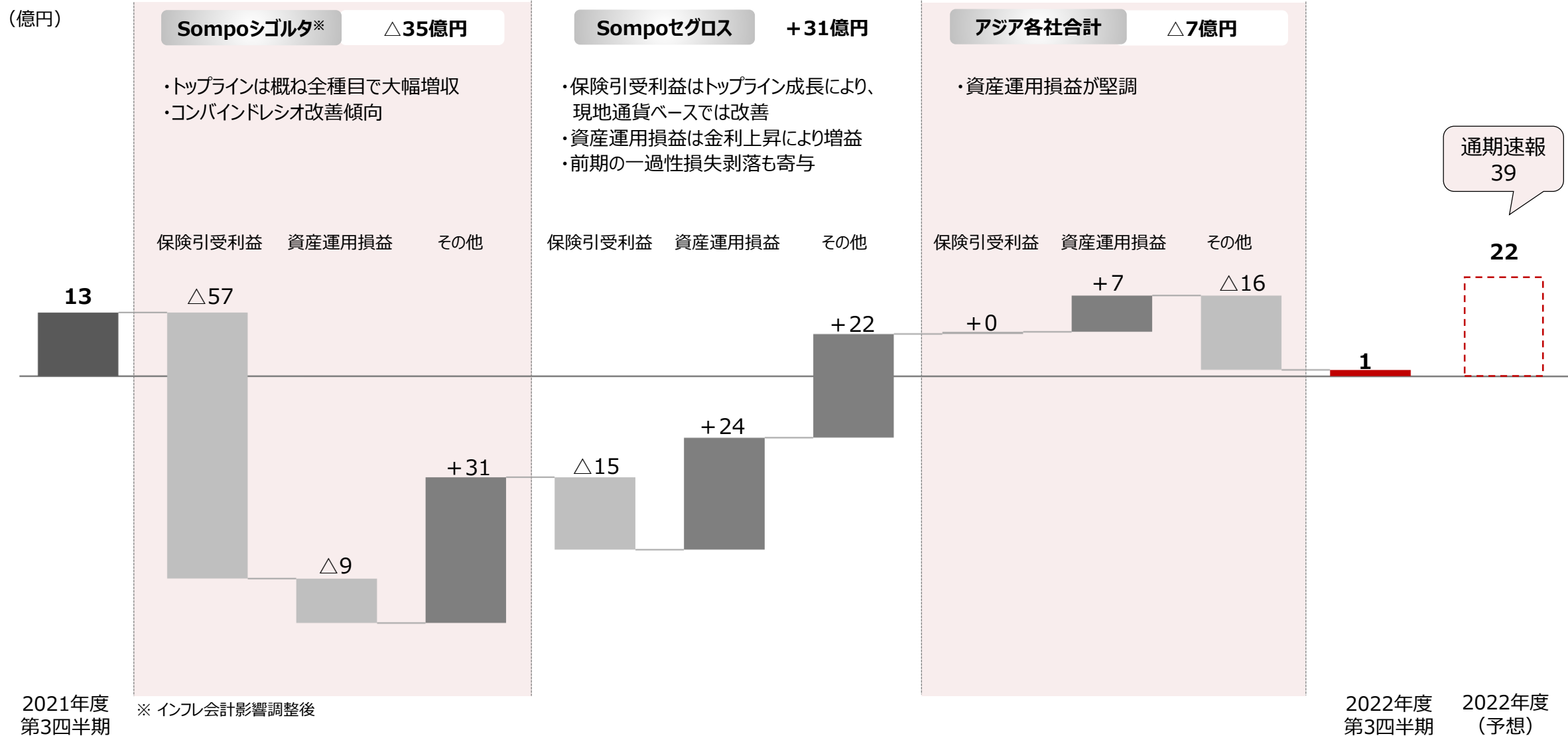
	2022年度 第3四半期	対前年増減		2021年度 実績	2022年度 予想	増減		2022年度 速報
グロス保険料	11,298	+1,168	(+11.5%)	12,272	13,465	+1,192	(+9.7%)	13,483
正味保険料	7,561	+1,390	(+22.5%)	7,564	8,993	+1,429	(+18.9%)	8,904
既経過保険料	6,289	+1,187	(+23.3%)	6,889	8,437	+1,547	(+22.5%)	8,444
発生保険金	4,567	+1,033	(+29.2%)	4,697	5,861	+1,163	(+24.8%)	
事業費	1,466	+168	(+13.0%)	1,769	1,966	+196	(+11.1%)	
損害率※1	72.6%	+3.3pt	-	68.2%	69.5%	+1.3pt	-	70.2%
事業費率※1	23.3%	△2.1pt	-	25.7%	23.3%	△2.4pt	-	23.3%
コンバインド・レシオ※1	95.9%	+1.2pt	-	93.9%	92.8%	△1.1pt	-	93.5%
保険引受利益	256	△19	(△7.1%)	426	610	+183	(+43.1%)	532
資産運用利益	267	+9	(+3.6%)	335	355	+20	(+6.0%)	418
その他損益※2	△1,447	△1,295	-	△255	△1,470	△1,214	-	
当期純利益※2	△794	△1,116	-	427	△443	△870	-	
(参考) 為替損益	△26	+14	-	△59	△26	+33	-	
有価証券売却・減損損失等※2	+1,398	+1,276	-	+220	+1,398	+1,178	-	
税効果	△233	△215	-	△25	△229	△203	-	
修正利益	344	△40	(△10.6%)	562	699	+137	(+24.4%)	691

※1 損害率、事業費率、コンバインド・レシオ算出における分母は既経過保険料

※2 現地IFRS会計により、未実現損益を含む

(参考) 業績概況 (SIコンシューマー)

SIコンシューマーの業績変動要因 (修正利益ベース)



(参考) 地域別業績概況

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



地域別業績

(億円)	正味収入保険料			修正利益				
	2022年度 第3四半期		2022年度 通期	2022年度 第3四半期		2022年度 通期		
	実績	対前年増減	予想	実績	対前年増減	予想		
SIコマーシャル (欧米)	10,950	+4,043	13,024	498	+67	1,012		
Sompoシゴルタ (中東・トルコ)	318	+147	537	△1	△35	△0		
SIコンシューマー	Sompoセグロス (南米・ブラジル)		750	+330	940	△58	+31	△62
	アジア各社合計		538	+182	725	61	△7	85
その他 (コーポレートコストなど)	-	-	-	△22	△22	△35		
合計	12,565	+4,711	15,237	476	+32	1,000		

(参考) 為替レート	2022年9月	対前年為替影響
円/米ドル	144.81	+29.4%
円/トルコリラ	7.82	△37.4%
円/ブラジルリアル	26.81	+29.7%

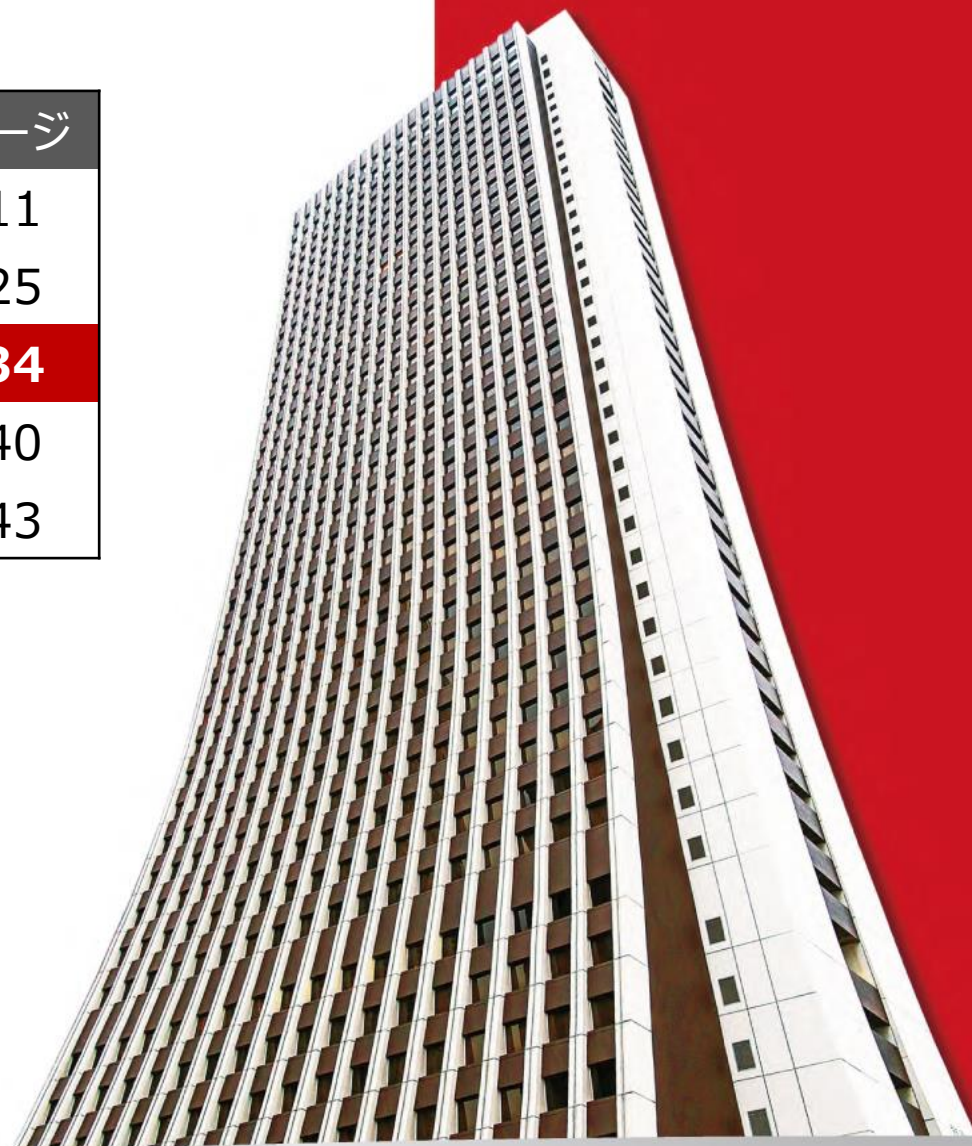
※ 通期速報は132.70円/米ドル (2022年12月) にて換算

通期速報
933

為替影響△85億円

事業別詳細

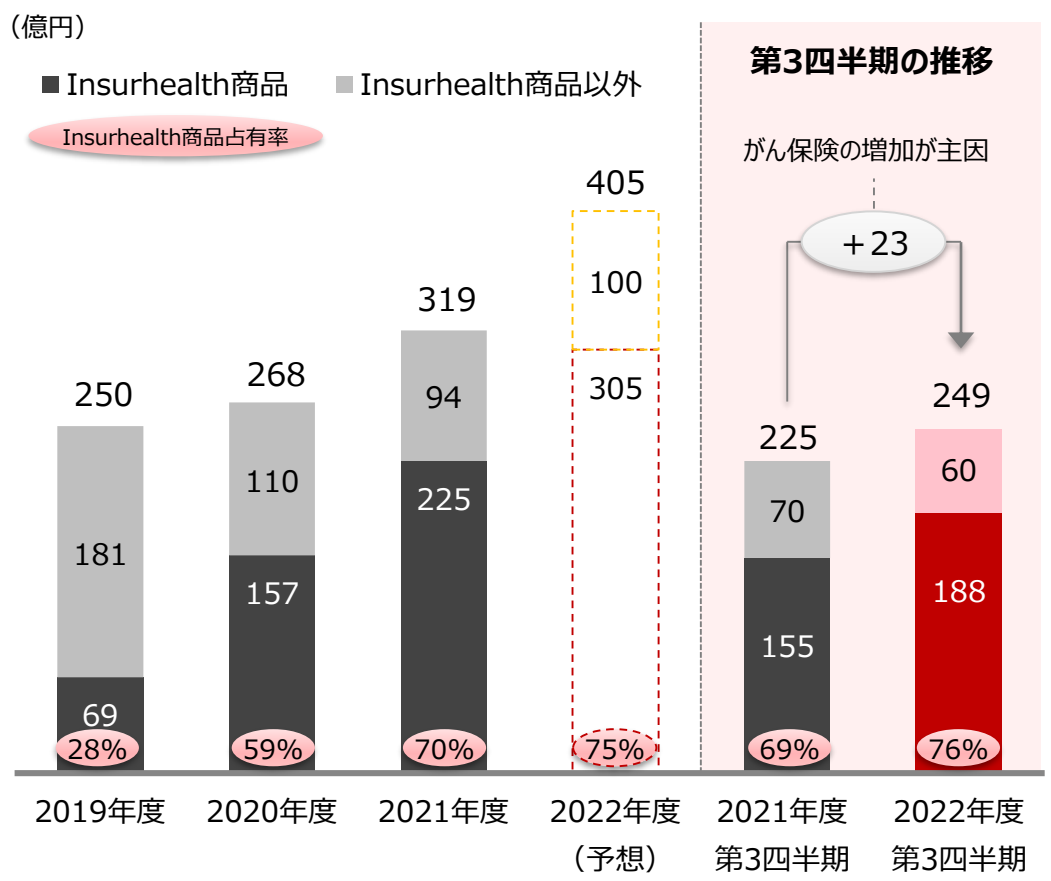
タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	11
海外保険事業	25
国内生保事業	34
介護・シニア事業	40
ERM	43



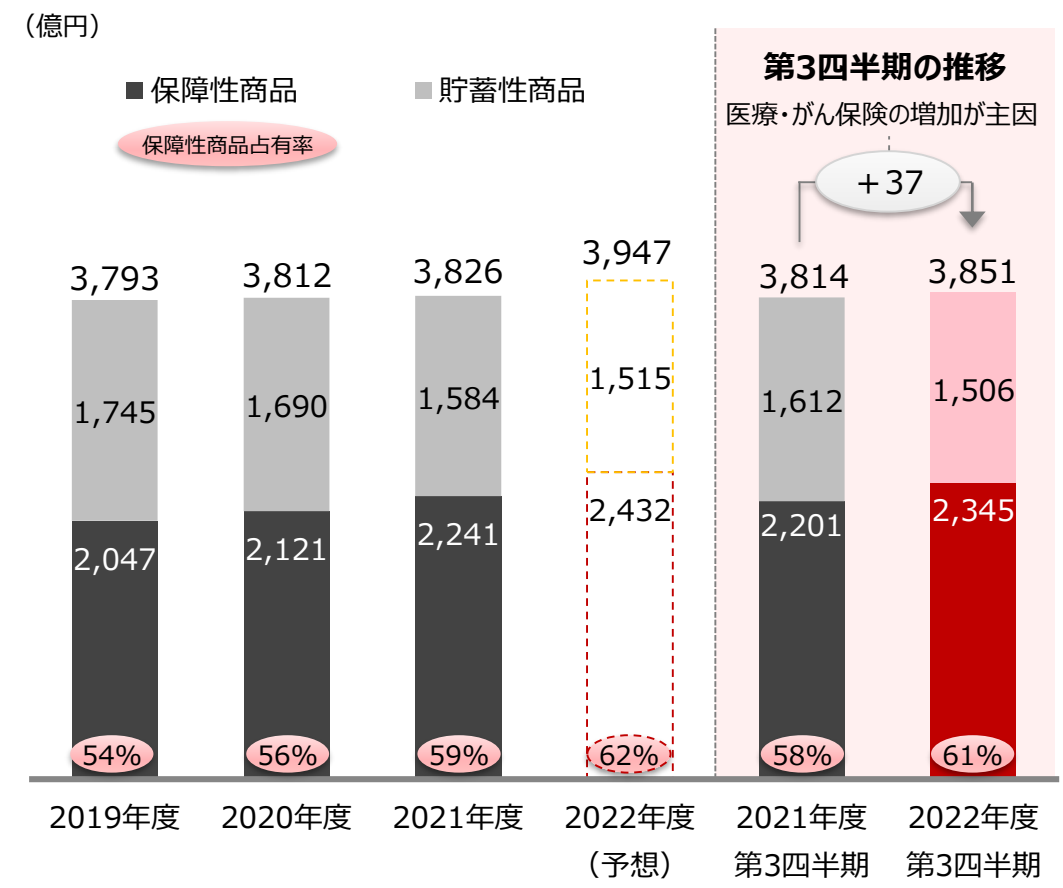
新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料

- がん保険などのInsurhealth®※商品の販売は引き続き好調、2022年度第3四半期の新契約年換算保険料は+23億円の249億円
- 2022年度第3四半期の保有契約年換算保険料も3,851億円と順調に拡大

新契約年換算保険料



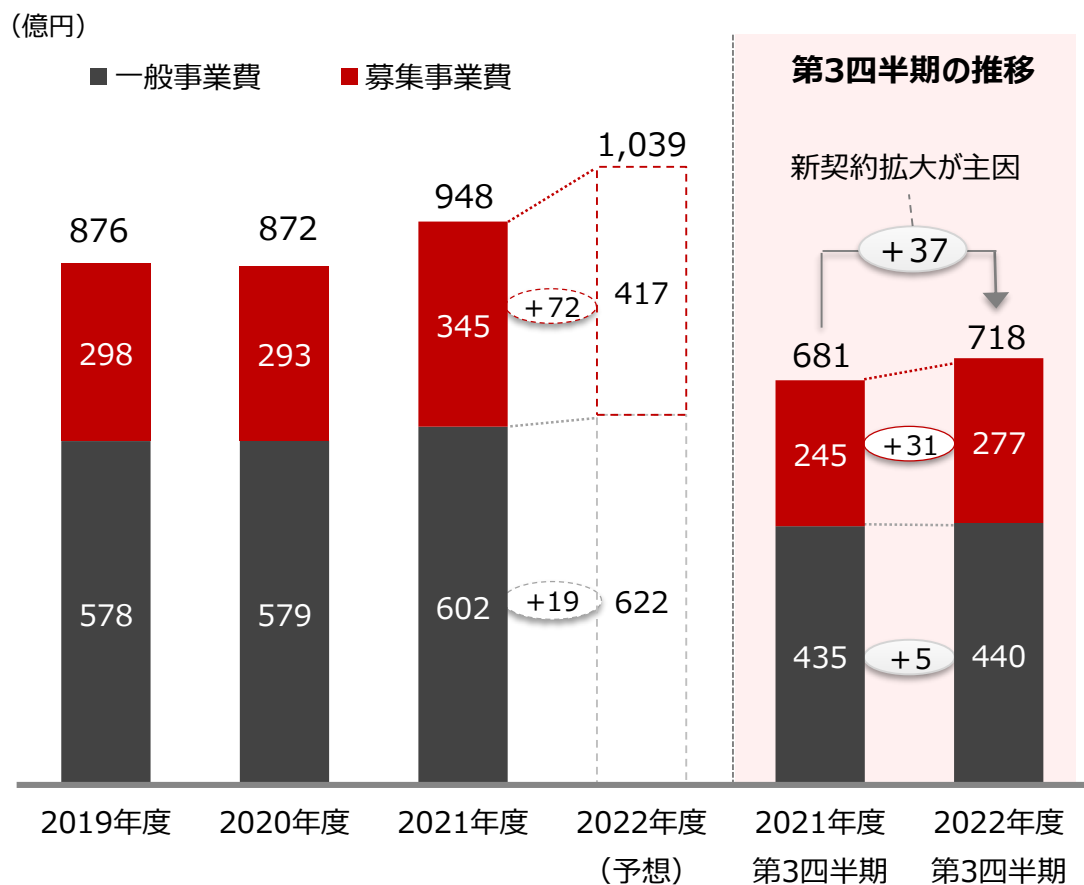
保有契約年換算保険料の推移



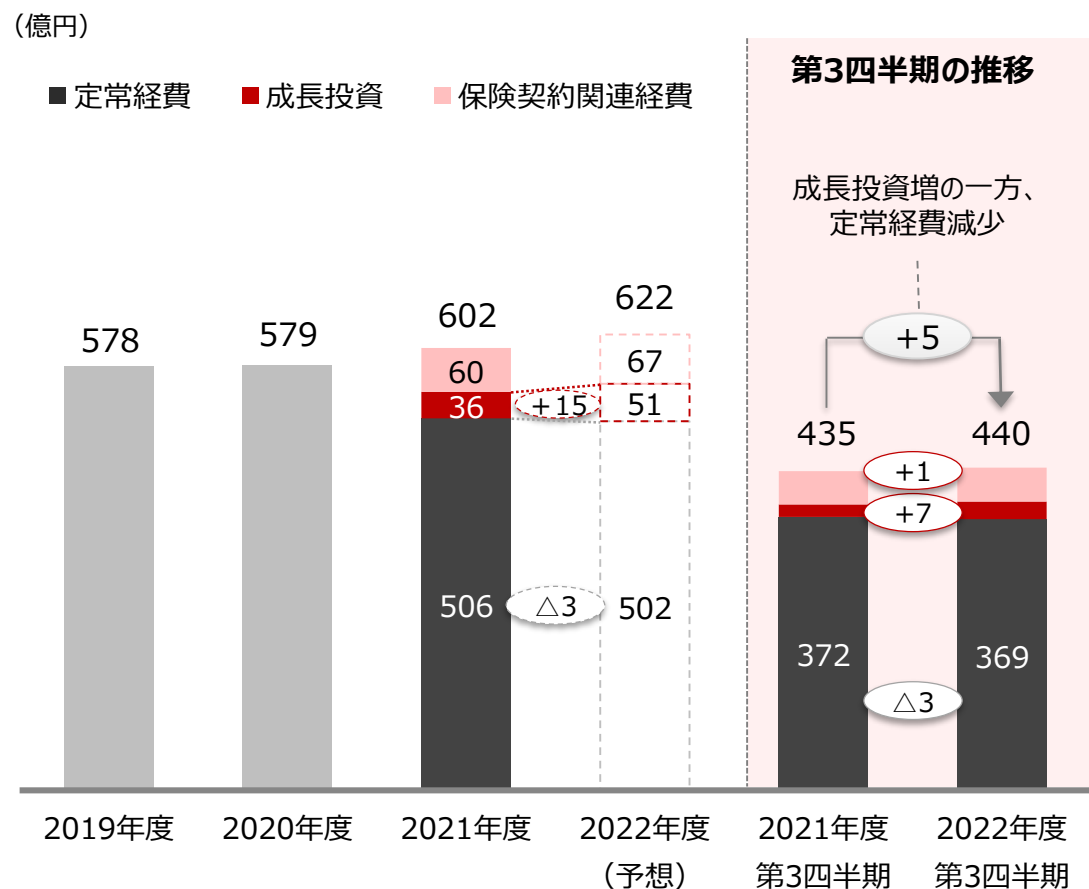
※ 保険本来の保障機能 (Insurance) に健康を応援する機能 (Healthcare) を組み合わせ新たな価値を提供する商品

- 2022年度第3四半期は、新契約の拡大に伴う募集事業費増加の一方で、定常経費は適切にコントロール

事業費の推移



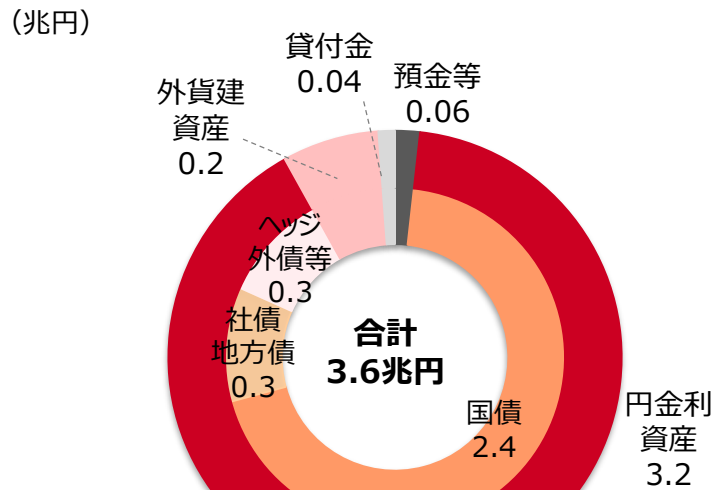
一般事業費の推移



資産ポートフォリオ・資産運用損益

- 超長期債の投入拡大（年度計画5,000億円に対し3,619億円※）によりデュレーションギャップは改善
- 資産運用損益は、金利上昇による利配収入の増加等がヘッジコストのマイナス影響を上回り、+84億円増の445億円

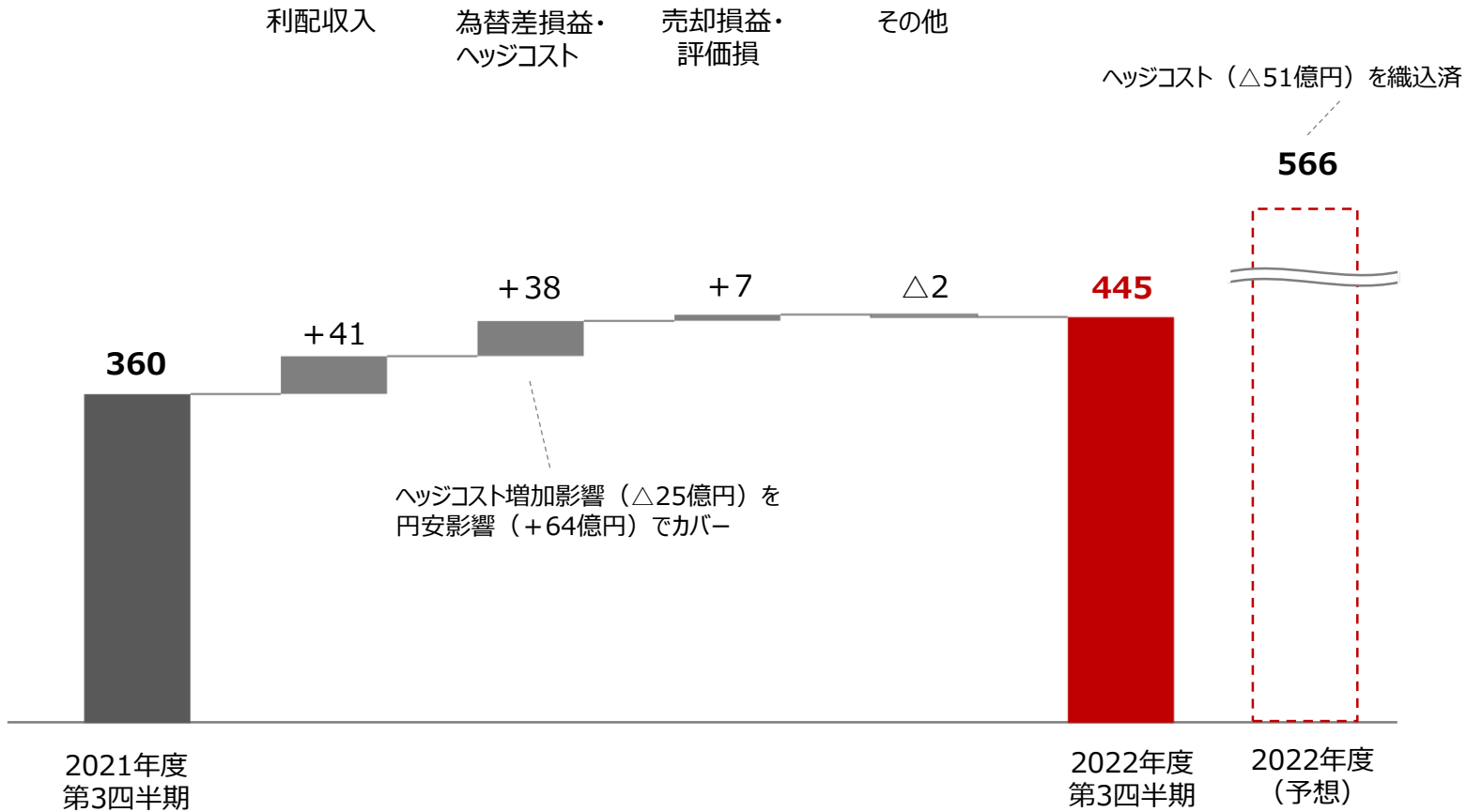
資産ポートフォリオ（2022年12月末、一般勘定）



	2022年3月末	2022年12月末
インカム利回り	1.5%	1.5%
デュレーション	資産 16年	17年
	負債 24年	20年

(参考) 円金利資産、外貨建債券の格付構成：BB格以下の保有なし

資産運用損益（一般勘定）の増減要因



※ 30年債換算

(参考) 決算数値

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



(億円)	第3四半期業績				通期業績予想		
	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	増減		2021年度 実績	2022年度 予想	増減
新契約年換算保険料	225	249	+23	(+10.5%)	319	405	+85
保険料等収入※1	3,211	3,199	△11	(△0.4%)	4,368	4,378	+9
責任準備金繰入等※2	2,048	1,987	△61	(△3.0%)	2,786	2,719	△66
保険金等支払	580	934	+353	(+60.9%)	803	1,136	+332
事業費	681	718	+37	(+5.4%)	948	1,039	+91
資産運用損益	372	446	+74	(+20.1%)	502	562	+59
(うち一般勘定)	360	445	+84	(+23.5%)	484	566	+81
基礎利益※3	246	△81	△328	(△133.2%)	275	12	△267
経常利益※1	231	△28	△259	(△112.3%)	264	△2	△267
当期純利益	141	△47	△188	(△133.6%)	159	△37	△197
修正利益	268	89	△179	(△66.8%)	336	180	△156

※1 法令に則った生命保険会社の様式に基づく数値（連結様式とは異なる）

※2 解約返戻金、満期保険金、生存給付金、年金、その他返戻金支払影響および特別勘定資産運用損益を含む

※3 ヘッジコストを含む

(参考) 修正純資産のコンバージョン

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



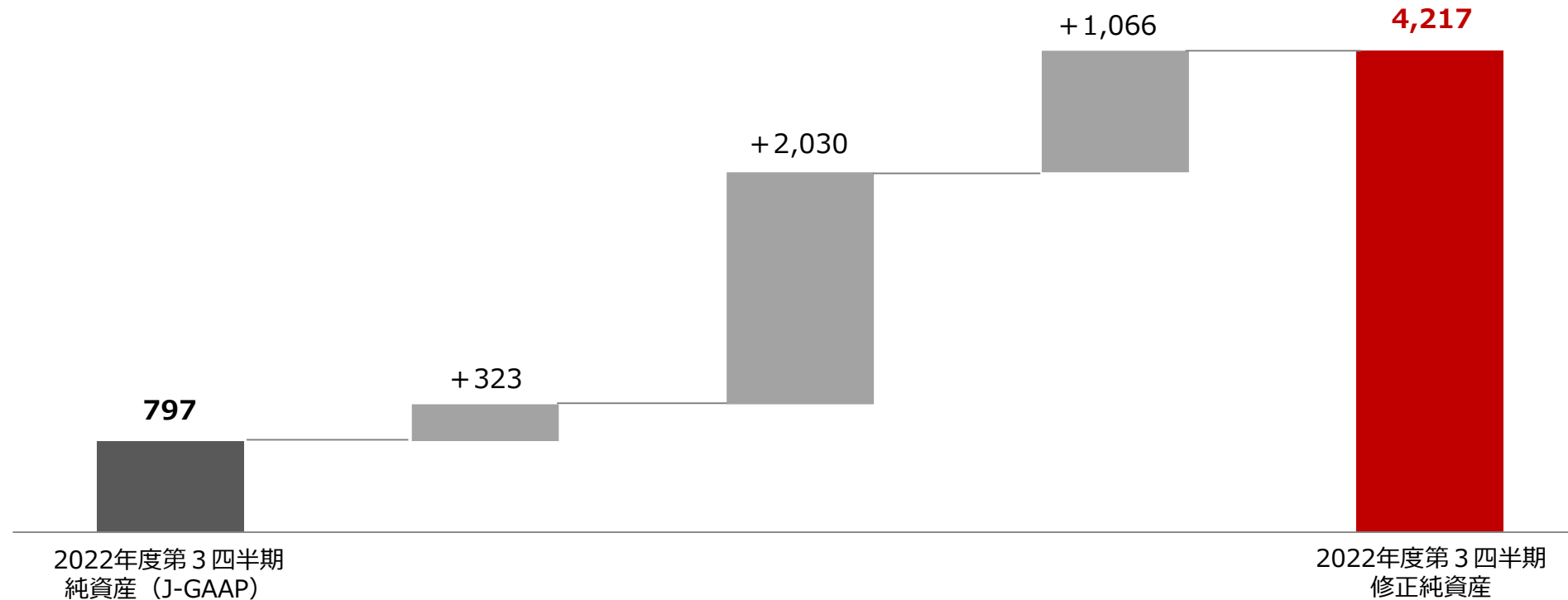
修正純資産のコンバージョン

(億円)

資本性準備金※1

責任準備金補正※2

繰延新契約費※3



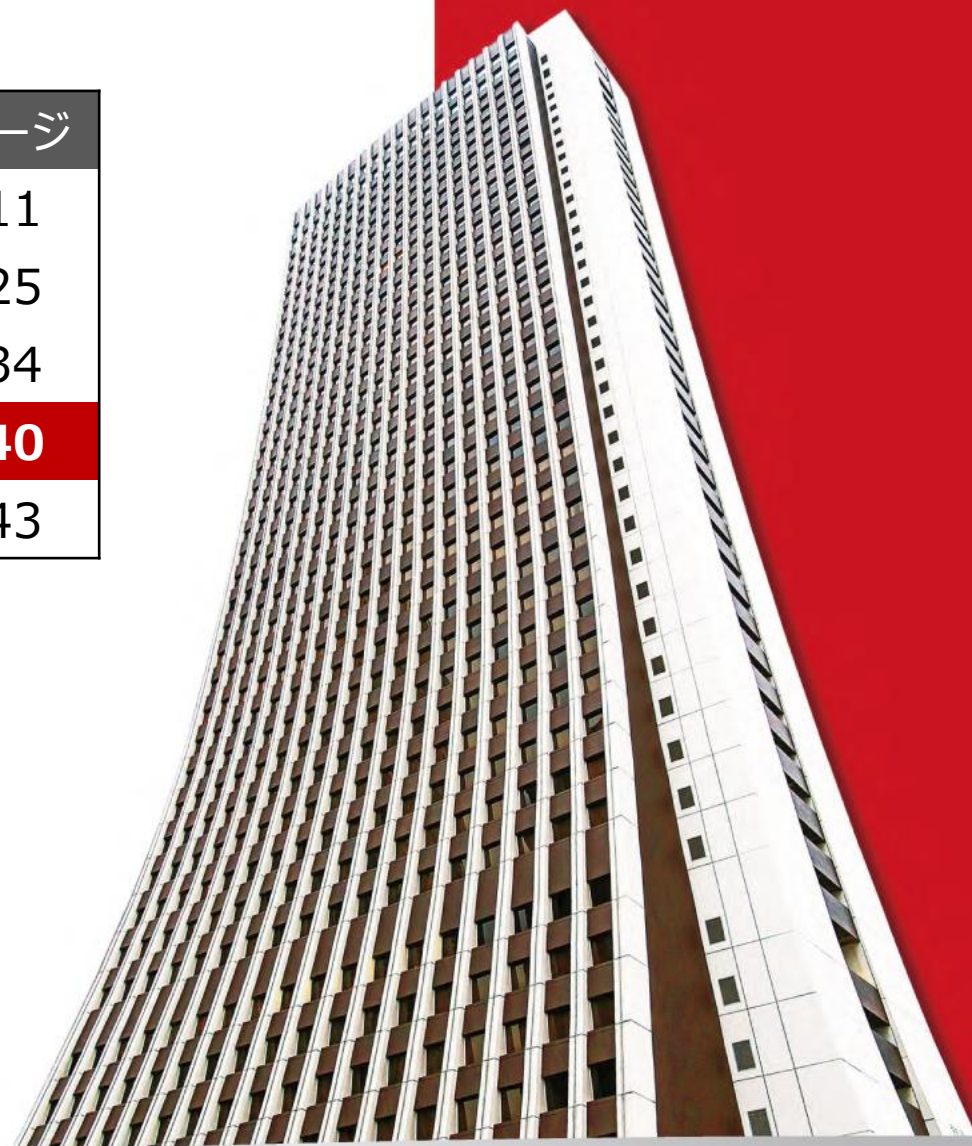
※1 危険準備金、価格変動準備金 (税引後)

※2 保守的に計算している責任準備金を保険料計算に用いる基礎率により再計算 (税引後)

※3 契約初年度に発生する募集手数料等の新契約費を10年間で償却 (税引後)

事業別詳細

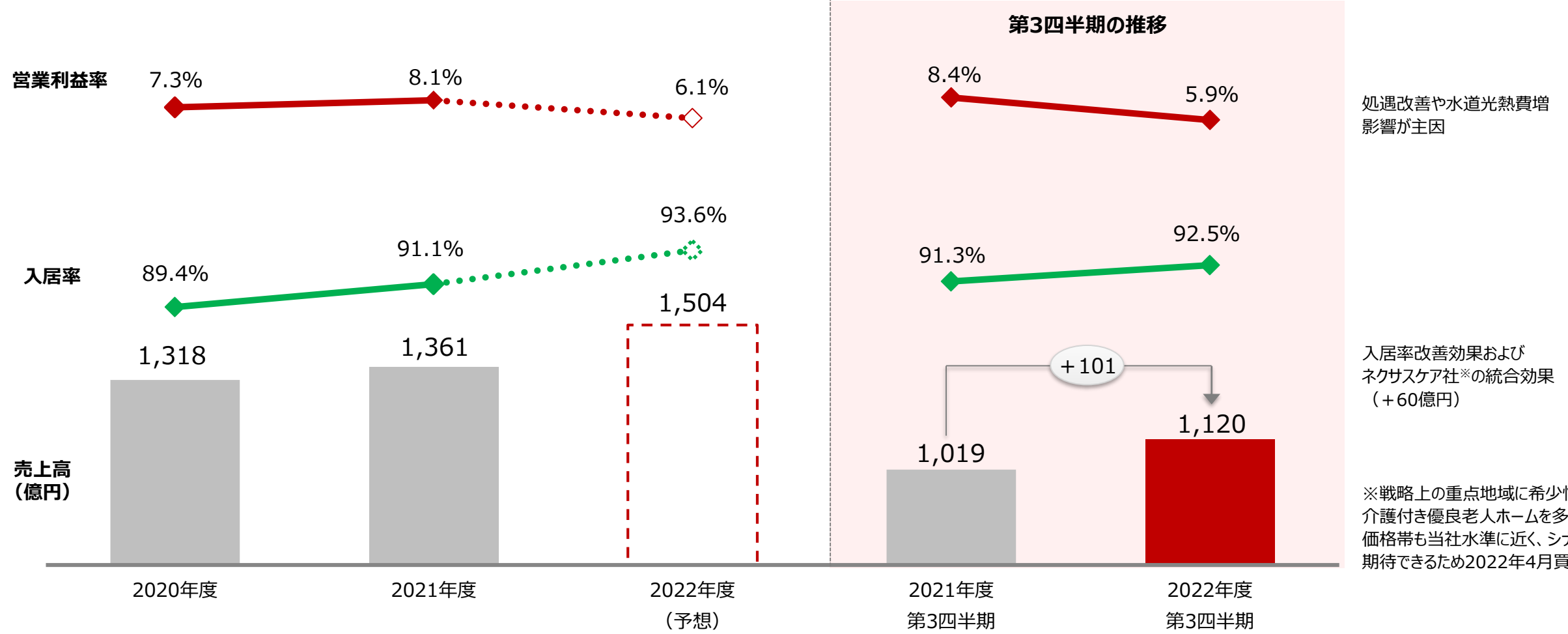
タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	11
海外保険事業	25
国内生保事業	34
介護・シニア事業	40
ERM	43



売上高・入居率・営業利益率

- ・ ネクサスケア社の買収効果に加え、入居率の改善を主因に、2022年度第3四半期の売上高は+101億円増収
- ・ 2022年度第4四半期はさらなる入居率の改善を見込む

SOMPOケアの売上高・入居率・営業利益率の推移

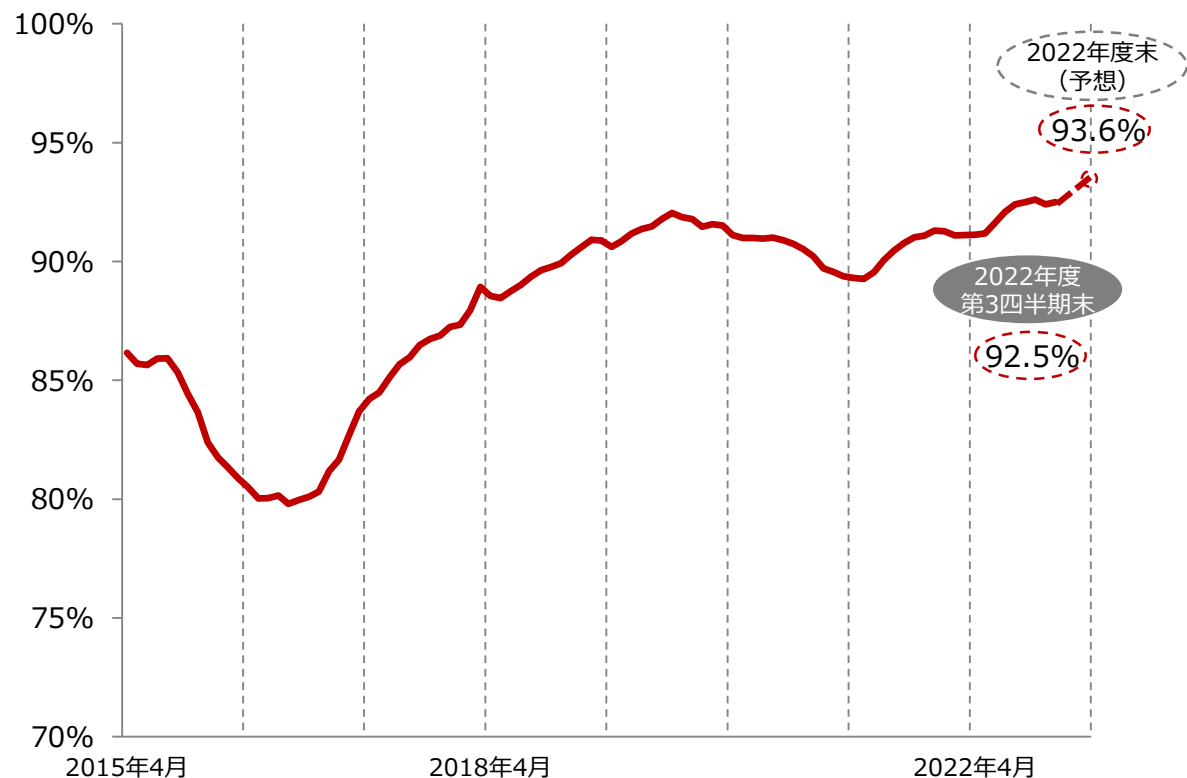


(参考) 入居率詳細・事業所数

概要			事業別詳細		
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM

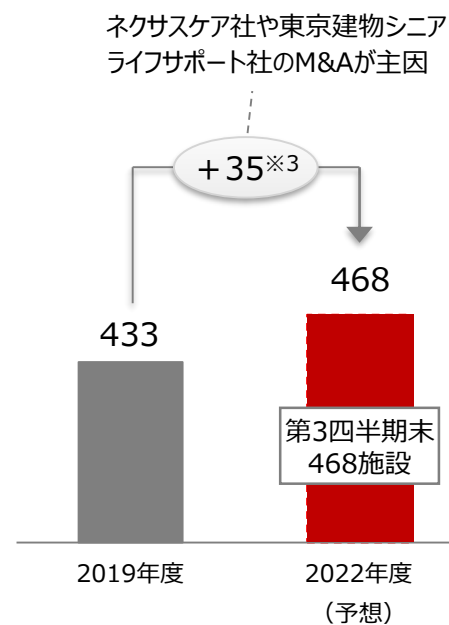


入居率^{※1※2}の推移

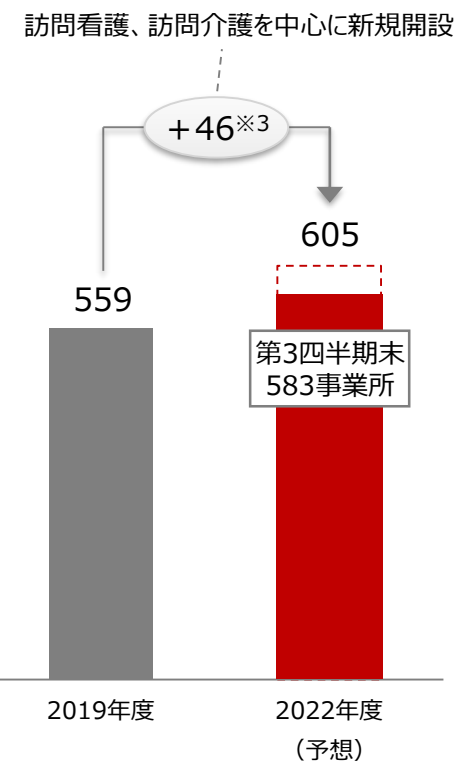


事業所数の推移

居住系事業所数



在宅系事業所数



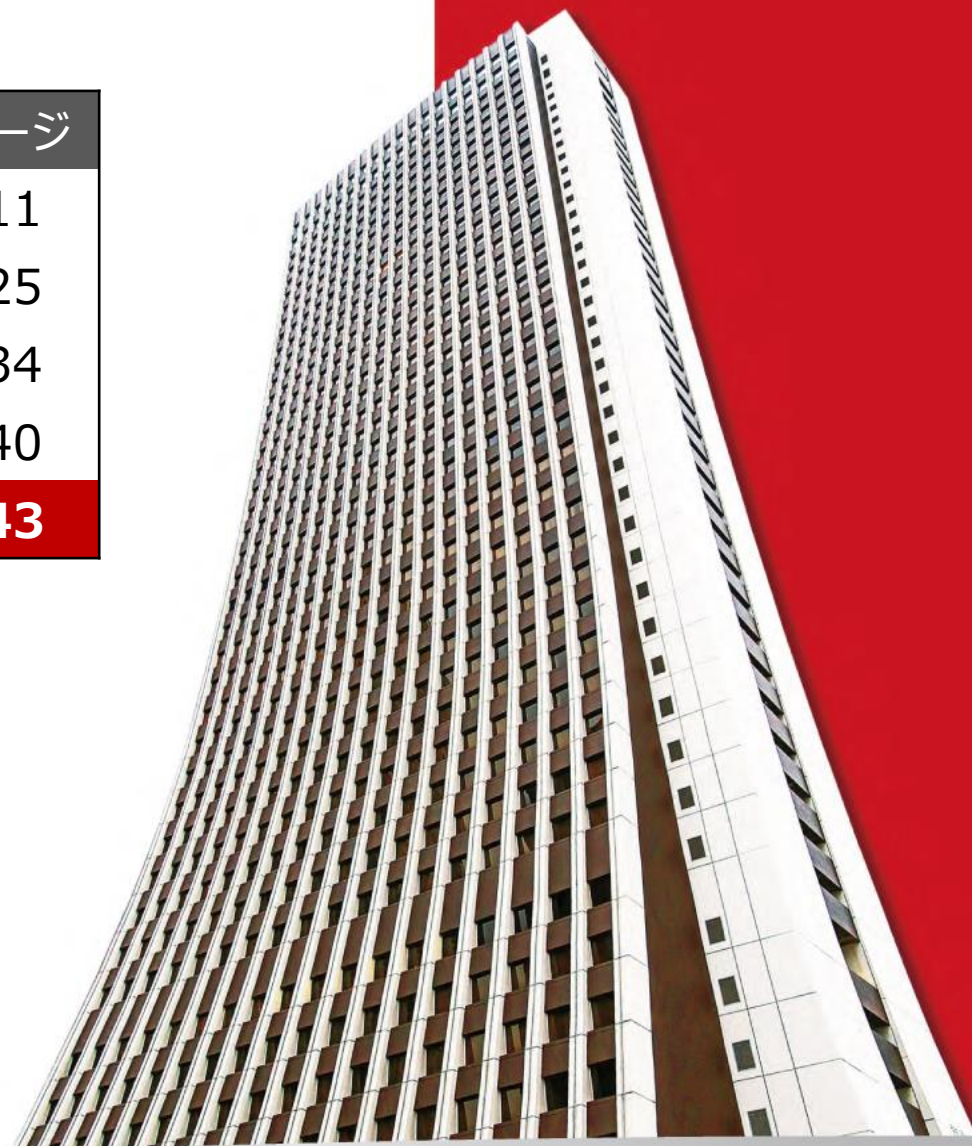
※1 入居率 = 入居者数 ÷ 施設定員数

※2 旧SOMPOケア・旧SOMPOケアネクストの入居率を統合して記載

※3 新規開設数およびM&Aから廃止した事業所数を除いた数

事業別詳細

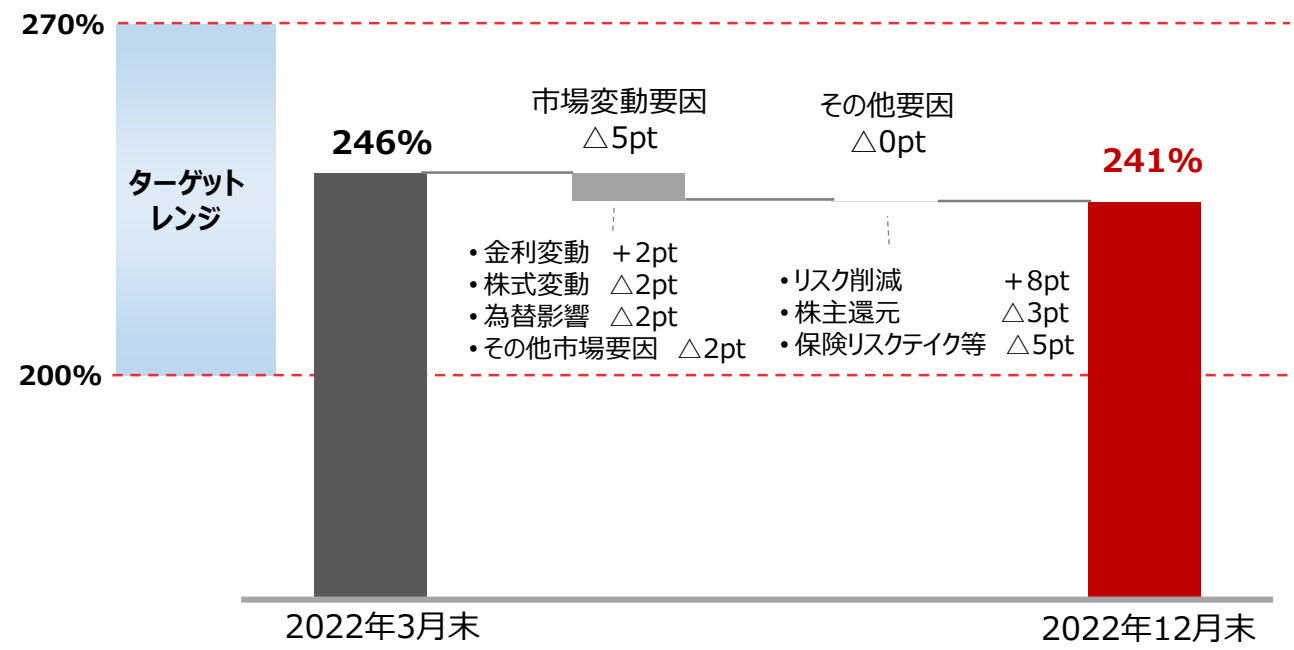
タイトル	ページ
国内損保事業（損保ジャパン）	11
海外保険事業	25
国内生保事業	34
介護・シニア事業	40
ERM	43



財務健全性：ESR（99.5%VaR）

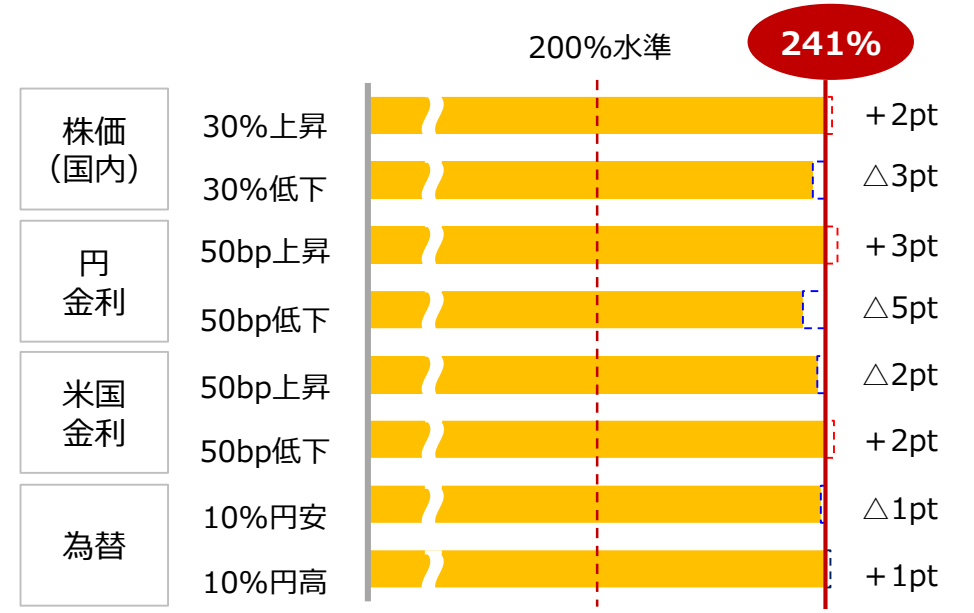
- 2022年12月末のESRは241%とターゲットレンジ内
- 超長期債購入に伴う金利リスク削減により、円金利感応度は低下

ESR（99.5%VaR）※1の推移



リスク削減取組み（年度目標進捗）		
株式リスク	政策株式売却	589億円／700億円
金利リスク	超長期債券投入額	3,619億円／5,000億円

ESR（99.5%VaR）の感応度分析（2022年12月末時点）



（参考）市場環境	2022年12月末	（増減※2）
国内株価（TOPIX）	1,891.71	（△2.8%）
国内金利（30年国債利回り）	1.58%	（+64bp）
米国金利（10年国債利回り）	3.87%	（+153bp）
為替（米ドル円レート）	132.70円	（+8.4%）

※1 ソルベンシー II に準拠した算出方法

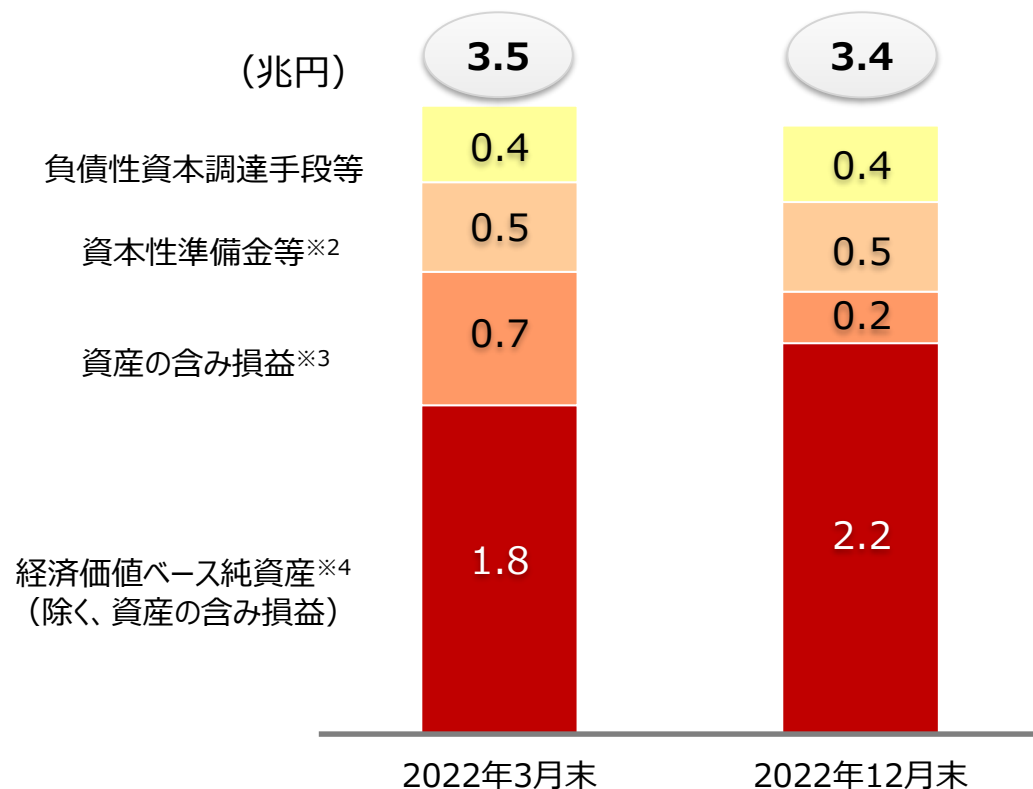
※2 2022年3月末対比

(参考) 実質自己資本・リスク量のブレイクダウン

概要			事業別詳細		
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM

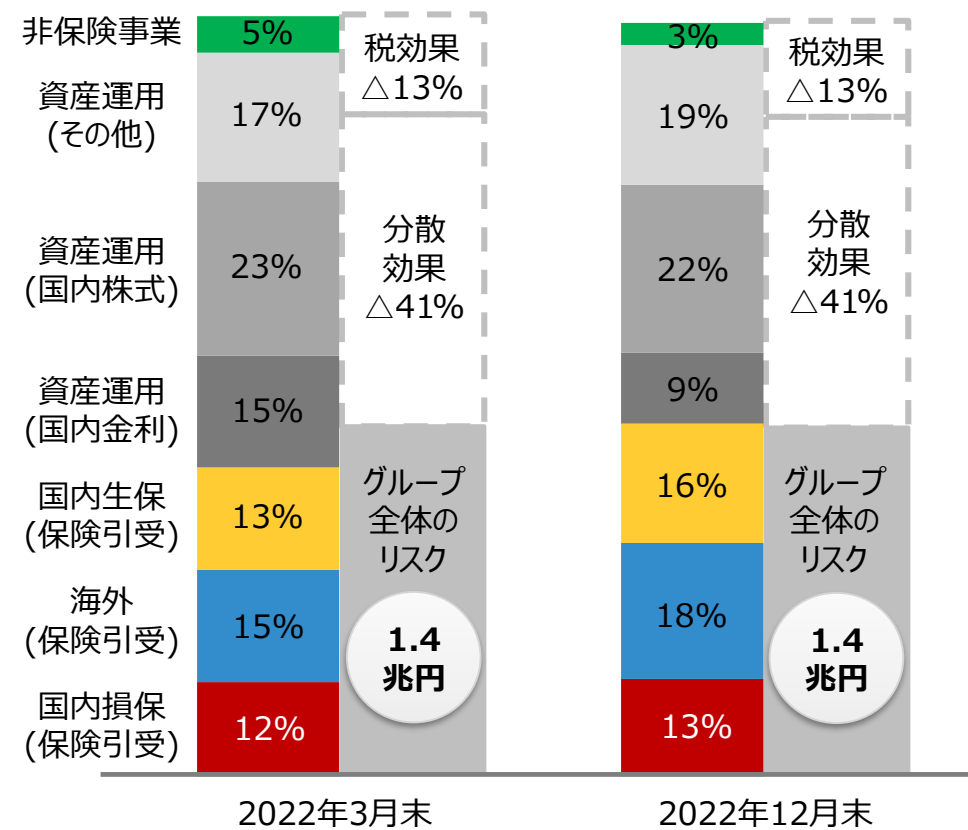


実質自己資本※1



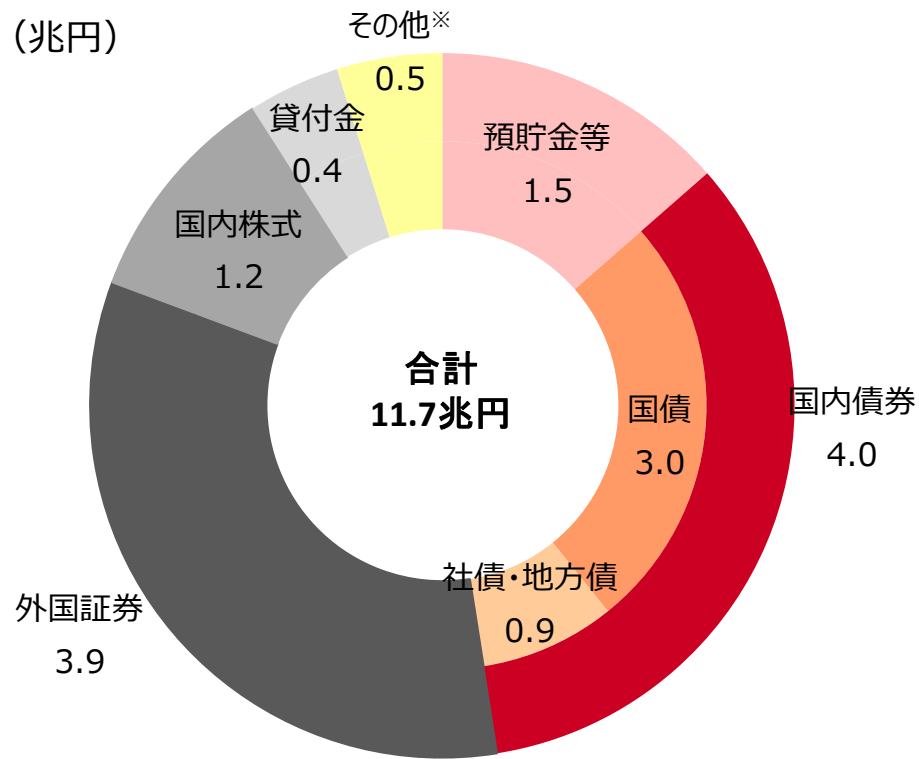
- ※1 実質自己資本 = 単体BS純資産合計額 + 保有契約価値 - のれん等 + 時価評価しない資産の含み損益 + 資本性準備金等 + 負債性資本調達手段等
- ※2 価格変動準備金、異常危険準備金など (税引後)
- ※3 時価評価しない資産を含めた有価証券等の含み損益
- ※4 単体BS純資産合計額に生損保の保有契約価値などを加算 (のれんや非支配株主持分等は控除)

リスク量※5



- ※5 リスク量は保有期間1年、99.5%VaRで計測
- リスク要因毎のリスク量：リスク要因間の分散効果等控除前 (税引前)
- グループ全体のリスク：リスク要因毎のリスク量合計 - 分散効果 - 税効果

運用資産額 (2022年12月末、グループ連結ベース)



グループ会社別運用資産額

(単位：億円)

	運用資産額	構成比
損保ジャパン	50,408	43%
SI	27,632	23%
ひまわり生命 (一般勘定)	36,135	31%
その他	3,739	3%
合計	117,914	100%

* “その他”は土地・建物、非連結子会社株式など

(参考) 経営数値目標

概要		事業別詳細			
グループ	国内損保	海外保険	国内生保	介護・シニア	ERM



計画数値

(単位：億円)	2022年度第3四半期		2022年度		2023年度	
	(実績)	(対前年増減)	(予想)	(事業別ROE) ※4	(計画)	(事業別ROE)
国内損保事業	208	△1,070	350	2.5%	1,500以上	11.4%
海外保険事業	476	+32	1,000	9.6%	1,000以上	11.6%
国内生保事業	89	△179	180	2.5%	400以上	5.7%
介護・シニア事業	43	△1	60	10.3%	80以上	14.3%
デジタル事業等	17	+2	10	-	20以上	-
合計(修正連結利益)	834	△1,216	1,600	-	3,000以上	-
修正連結ROE※3	-	-	5.8%	-	10%以上	-
ROE (J-GAAPベース)	-	-	4.1%	-	-	-

修正連結利益※1の定義

国内損保事業

当期純利益
 + 異常危険準備金繰入額等 (税引後)
 + 価格変動準備金繰入額 (税引後)
 - 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)

海外保険事業

Operating Income※2
 なお、持分法適用関連会社は、原則当期純利益

国内生保事業

当期純利益
 + 危険準備金繰入額 (税引後)
 + 価格変動準備金繰入額 (税引後)
 + 責任準備金補正 (税引後)
 + 新契約費繰延 (税引後)
 - 新契約費償却 (税引後)
 - 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)

介護・シニア事業

当期純利益

その他事業

デジタル事業

当期純利益
 - 投資に関する売却損益・評価損 (税引後)

※1 事業部門別修正利益は、一過性の損益またはグループ会社配当等の特殊要因を除く

※2 一過性の変動要素を除いたOperating Income (= 当期純利益 - 為替損益 - 有価証券売却・評価損益 - 減損損失など)

※3 修正連結ROE = 修正連結利益 ÷ 修正連結純資産 (分母は、期首・期末の平均残高)

修正連結純資産 = 連結純資産 (除く国内生保事業純資産) + 国内損保事業異常危険準備金等 (税引後) + 国内損保事業価格変動準備金 (税引後) + 国内生保事業修正純資産

国内生保事業修正純資産 = 国内生保事業純資産 (J-GAAP) + 危険準備金 (税引後) + 価格変動準備金 (税引後) + 責任準備金補正 (税引後) + 未償却新契約費 (税引後)

※4 事業別ROE = 事業部門別修正利益 ÷ 各事業への配賦資本 (事業に属する会社の連結純資産合計またはリスクモデルに基づく必要資本。期首・期末の平均)

事業別ROEは、各事業特性を踏まえ異なる定義で各々設定しているため、事業間比較には適さず、各事業の進捗モニタリングを通じて修正連結ROEおよび各事業別ROE目標値の達成確度を高めることを目的に導入

将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】



SOMPOホールディングス株式会社

IR室

電話番号： 03-3349-3913

email : ir@sompo-hd.com

URL : <https://www.sompo-hd.com/>